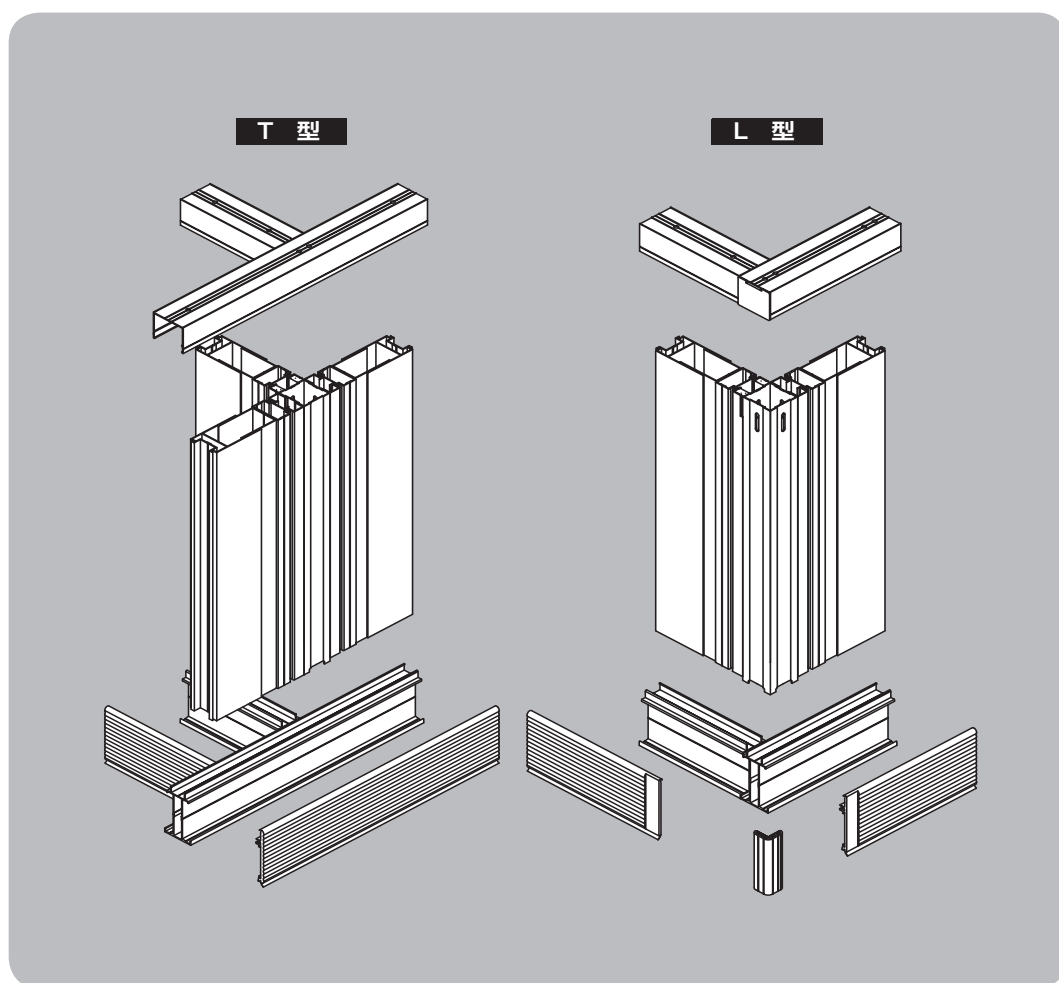


アルミインテリア建材 ビュライ 可変間仕切壁

スタイルシフトウォール

L型タイプ・T型タイプ

取扱い・取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けていただくための、組立ておよび取付けについて、重要な内容を記載しております。

ご留意いただき、取付けてください。

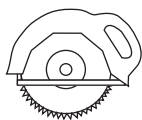
保証内容在中

この取付け説明書には保証に関する重要な内容が記載されています。取付け完了後は必ずお施主様にお渡しください。

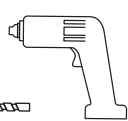
目次

<使用工具・用具>

☐ 電動丸のこ



☐ 電気ドリル



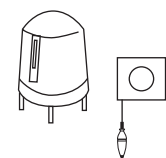
☐ ドリル刃

φ3.5 (鉄工用)

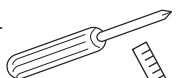
φ5.0 (鉄工用)



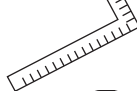
☐ レーザー墨出し器、
下げ振り



☐ プラスドライバー
#2



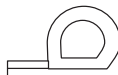
☐ 金尺



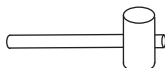
☐ マスキングテープ



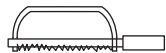
☐ コンベックス



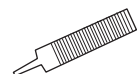
☐ プラスチックハンマー



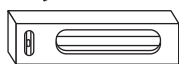
☐ 金ノコ



☐ ヤスリ



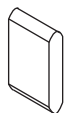
☐ 水準器



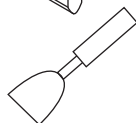
☐ 鉛筆



☐ 木片 厚さ4mm程度
(角がとれているもの)



☐ ヘラ



☐ ウエス

☐ ニッパー

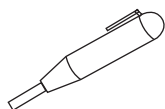
☐ ハサミ

☐ 脚立

<推奨工具>

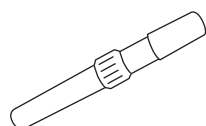
☐ プッシュマジック

※. 石膏くぎを打ち付ける際の推奨工具



☐ one-push (ワンプッシュ)

※. 天井下地材を確認する際の推奨工具



■ 取付けされる方へのお願い	1
■ 部材構成	2・3
■ 納まり図	4~13
■ L・T型ジョイント各部の名称	14
■ L・T型ジョイント取付け手順 (可変間仕切壁との連結手順)	15

1 設置条件及び確認	16・17
2 位置出しとマーキング	18・19
3 L・T型用 上ランナーの取付け	20~22
4 L・T型用 下ランナーの取付け	23~26
5 L・T型用 中柱、柱アタッチ 及び調整柱の取付け	27~30
6 可変間仕切壁用 壁当りAの取付け	30
7 可変間仕切壁用 上ランナーの取付け	31~33
8 可変間仕切壁用 下ランナーの取付け	34~37
9 可変間仕切壁用 壁当りB・Cの取付け	37
10 L・T型用 調整材(壁当りB・C)の取付け	38
11 パネルの建込み	39
12 L・T型用 目地カバーの取付け	39
13 可変間仕切壁用 目地カバーの取付け	39
14 方立の取付け	39
15 L・T型用 幅木カバーの取付け	40・41
16 可変間仕切壁用 幅木カバーの取付け	41
17 取付け後の製品確認と養生	42
18 移設時の部品について	42
19 商品保証について	43

取付けされる方へのお願い

- この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 思わぬケガや事故につながりますので下記事項をお守りください。

<取付け時>

- ・設置及び移設は当社指定の業者での取付けとなります。当社指定以外の業者で行わないでください。
- ・ねじ類の締結部品及び個所は必ず指定工具で全てゆるみなく止めてください。
- ・設置及び移設予定個所には天井下地補強材が必要になります。ねじは必ず天井下地補強材に止めてください。
- ・改造は行わないでください。また、指定部品以外は使用しないでください。
- ・天井補強下地材は、40mm角以上の木材を使用してください。

<取付け後>

- ・取付け完了後、ゆるみやガタツキ、及び使用上の不具合や危険な個所がないかを確認してください。また、商品にキズやへこみなどがないかを確認してください。
- ・分解や改造は絶対にしないでください。
- ・寄りかからないでください。

お願い

<設計および取付け前>

- この商品は屋内専用の商品になります。屋外には使用できません。
- 確認申請時には、竣工時の間仕切りプランにて行ってください。移設後などのプランも考慮した建築計画をお願いします。(火災報知機など)
- コンロ周辺での設置には、消防法によりコンロからの距離などの規制がありますのでご注意ください。(詳細は各地域の火災予防条例によります)
- 不燃認定は取れていません。また、防火上有効な壁とはみなされません(家具と同じ扱いになります)のでアパートなどの界壁には使用できません。
- 省令準耐の対応について室内に面する部分に設置しても問題ありません。また可変間仕切壁を含まない通常の壁によって囲まれる室内空間を一室とみなすことができるため、可変間仕切壁に防火区画をする必要はありません。
- 浴室などの湿気の多い場所、水が直接かかる場所には使用しないでください。
- 壁や床の取付けが完了していることを確認してください。(後付タイプです)
- 設計図書にもとづいて可変間仕切壁の配置及び納まりを確認してください。
- 周辺の室内養生を十分注意して計画してください。
- 搬入経路を確保してください。
- 開梱時に構成部品の内容を確認してください。
- 商品に破損や異常がないかを確認してください。
- 商品を投げたり、落としたりしないでください。破損や変形、キズの原因になります。
- 商品を踏みつけたり、重い物を上に置かないでください。破損や変形、キズの原因になります。

<取付け時>

- 商品や部品などの落下に十分注意してください。また、投げ渡したり踏んだりしないでください。

- 本書は、L・T型ジョイント製品の取扱い・取付け方法を記載しています。可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」を連結される場合は、方立セット、壁当りセットに同梱されている説明書を参照し、作業を行ってください。
- 上ランナー取付けねじは $2 \sim 2.5 \text{ Nm}$ ($20 \sim 25 \text{ Kgf/cm}$) のトルクで締付けてください。

<移設時>

- 幅木カバー、目地カバー、コーナー保護材などは消耗品扱いとし、移設時には交換が必要になります。また、寸法の異なる移設では部材の追加、破棄が必要となります。
- 撤去後、壁・天井にはピン跡及びねじ穴が発生します。クロス用のタッチアップによる補修を原則としますが、多少の補修跡が残るため、予めお客様に了解を得てください。
- 数年後に移設される際、周囲の床、壁、天井クロスなどが日焼けをして設置した場所との色の違いが生じる場合があります。その旨をお客様にはご理解を頂いた上でのご使用をお願いします。
- 数年後に移設される際、使用状況により壁、天井クロスがパッキン材と化学反応を起こし、設置していたクロスの表面に色の変化が生じる場合があります。その旨をお客様にはご理解頂いた上でご使用をお願いします。

<取付け後>

- 引き渡し前に商品にゴミや異物の付着などがないことを確認し、清掃を行なってください。
- パネルに画紙またはねじを打たないでください。
- ボールなどをぶつけないでください。
- 暖房器具から発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り、変色などの原因、及び表面材が銅板のため高温になる場合があります。
- 本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材料の特性により表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。

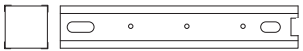
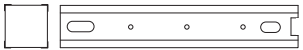
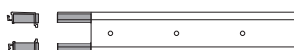
部材構成

■L・T型用 上下ランナーセット

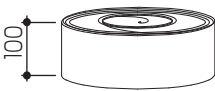
	姿図		L型	T型
部 材		上ランナー（通し側:L:350）		1
		上ランナー（通し側:L:199）	1	
		上ランナー（突付け側:L:151）	1	1
		下ランナー(通し側:L:350)		1
		下ランナー(通し側:L:196)	1	
		下ランナー(突付け側:L:154)	1	1
		幅木カバー（通し側:L:350）		1
		幅木カバー（通し側:L:154）	1	2
		幅木カバー（突付け側:L:149）	1	2
	 ※長めに入っている為、現場にて切断してください。	コーナー用幅木カバー（通し側）	1	
	 ※長めに入っている為、現場にて切断してください。	コーナー用幅木カバー（突付け側）	1	
ランナー 部品セット SE-1828		L型用端部小口カバー	○	
	φ3.8×32平皿木ねじ	上ランナー取付けねじ (※)	○	○
		隙間隠し材 (※)	○	○
		ジョイントプレート (※)	○	○
	φ4.0×8トラスねじ	ジョイントプレート取付けねじ(※)	○	○
	断面簡略図	メカニカルファスナー（ループ）	○	○
	断面簡略図	メカニカルファスナー（フック）	○	○
		L型用コーナー保護材	○	

(※) 印の部品は余る場合があります。

■L・T型用ジョイント 縦材セット

	姿 図		L型	T型
部 材	 (L型用)	中柱（上下端部:4周面加工有）	1	
	 (T型用)	中柱（上下端部:2面加工有）		1
		柱アタッチ（通し側）	1	2
		柱アタッチ（突付け側）	1	1
		調整柱	2	3
ジョイント 縦部材取付け セット SE-1994	 φ4.0×8トラスねじ	柱アタッチ取付けねじ	16	24
		中柱固定金具	1	1
	 φ4.0×8平皿ねじ	中柱固定金具取付けねじ	2	2
	 φ3.8×32平皿木ねじ	中柱固定金具枠取付けねじ	2	2
		下部固定金具	1	1
	 φ4.0×8トラスねじ	下部固定金具取付けねじ	1	1
	 φ4.0×13バーリングねじ	下部固定金具取付バーリングねじ	1	1

■L・T型用 調整材セット

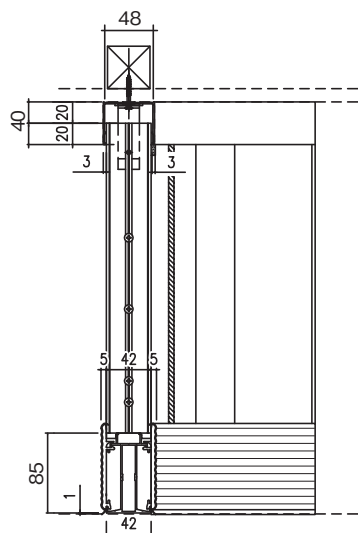
	姿 図	名称	数量
部 材		壁当りB	1
		壁当りC	1
壁当り取付け ねじセット SB-3879	 φ4.0×8トラスねじ	壁当りB取付けねじ	10
	 (L=2400)	吸音材	1

納まり図

■ T 型 <一般パネル>

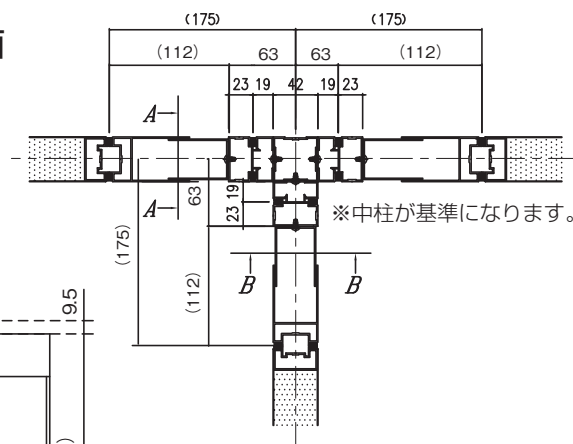
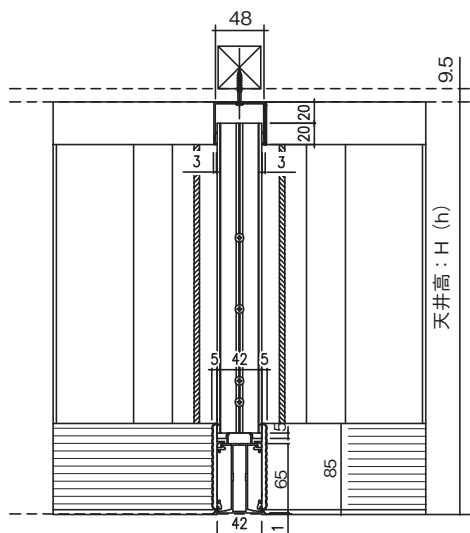
●縦断面

A-A 納まり図 (通し側)



●横断面

B-B 納まり図 (突付け側)

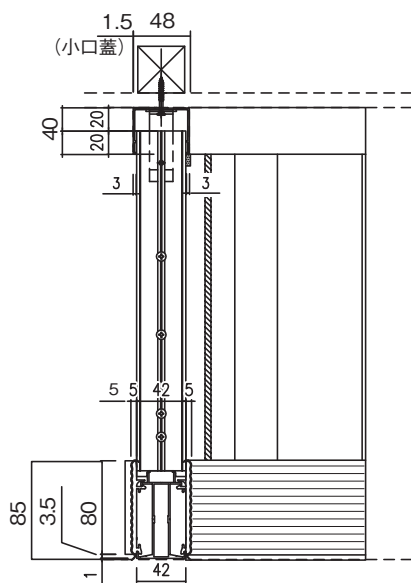


※シースルーパネルの場合も同じ納まりとなります
※ダブル壁の場合は対応しておりません。

■ L 型 <一般パネル>

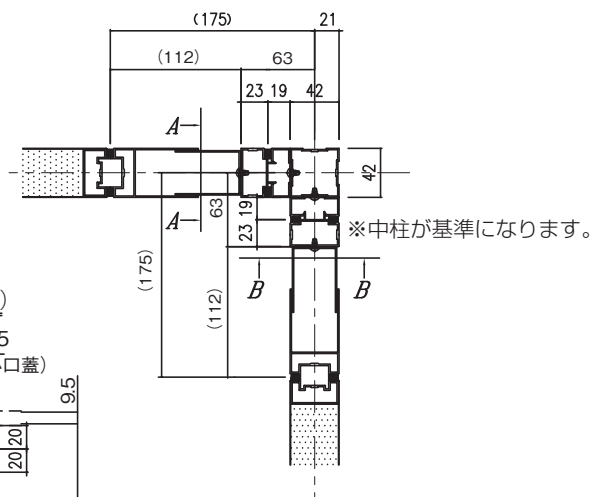
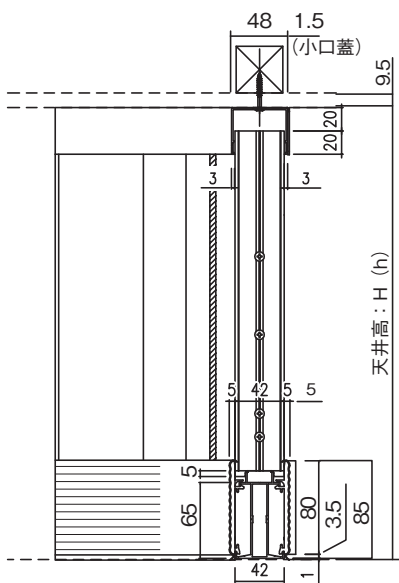
●縦断面

A-A 納まり図 (通し側)



●横断面

B-B 納まり図 (突付け側)



※シースルーパネルの場合も同じ納まりとなります
※ダブル壁の場合は対応しておりません。

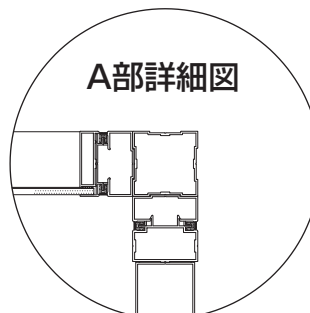
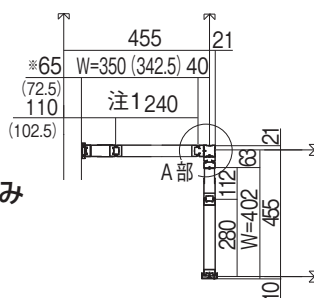
●パネル割付例（尺モジュール）

■壁付 L 型【柱105 角】

※…柱の中心から壁の厚みまでの寸法
() 内寸法は、柱：120角の寸法

W:05の場合

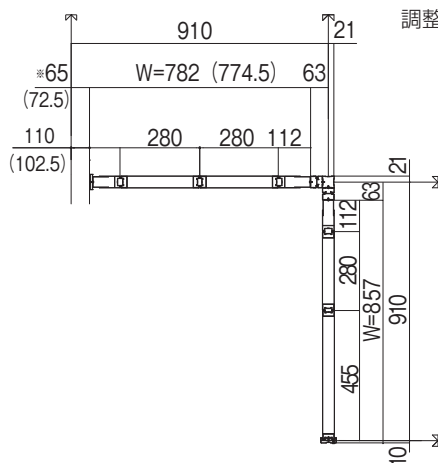
（シースルーパネルの場合のみ
対応可能）



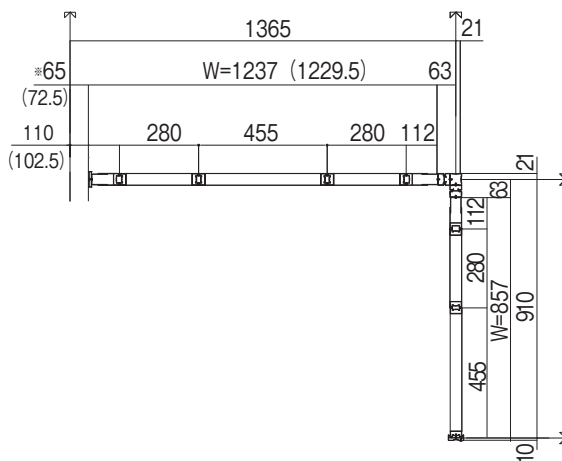
注1)シースルーパネル240幅は特寸対応となります。

壁-L・Tジョイント間でのW:05納まりの場合は、
調整柱は不要となります。

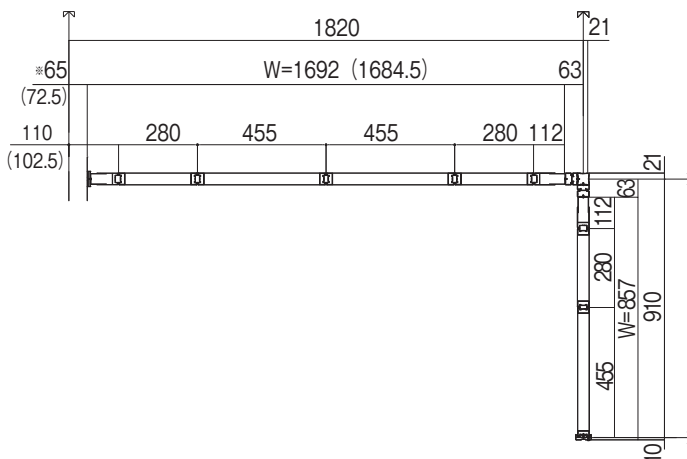
W:10の場合



W:15の場合



W:20の場合

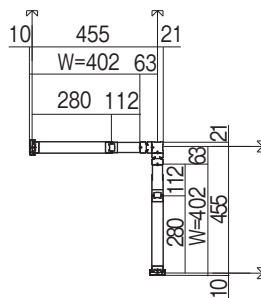


ダブル壁の場合は対応しておりません。

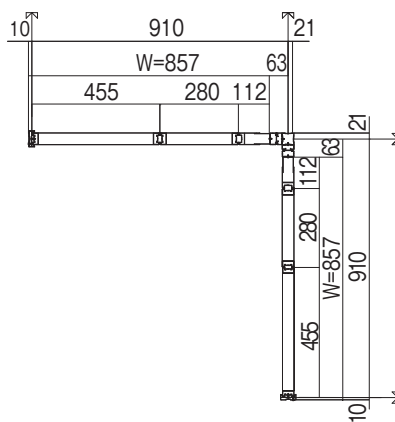
●パネル割付例（尺モジュール）

■独立 L 型

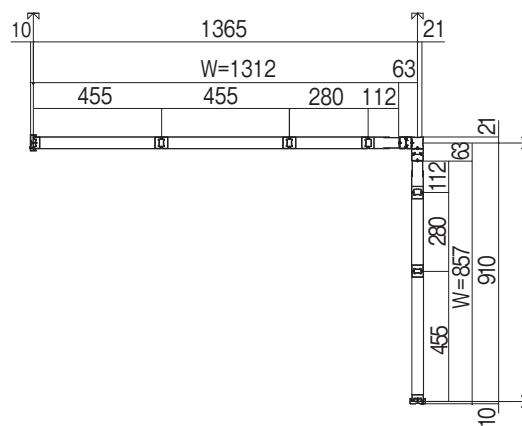
W:05の場合
(シースルーパネルの場合のみ
対応可能)



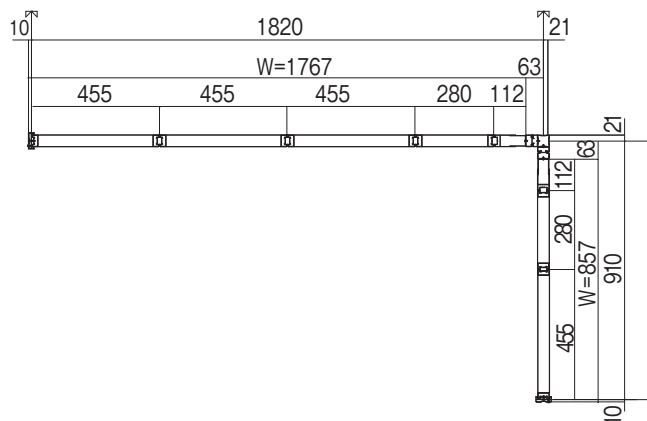
W:10の場合



W:15の場合



W:20の場合



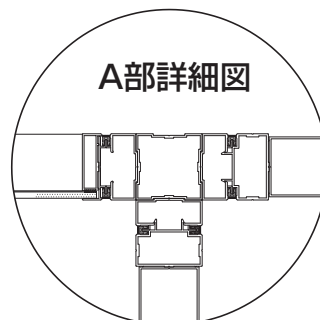
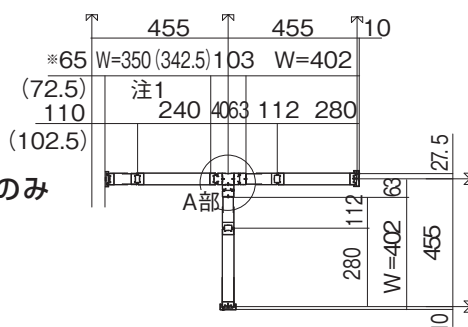
ダブル壁の場合は対応していません。

●パネル割付例（尺モジュール）

■壁付 T 型【柱105角】

※…柱の中心から壁の厚みまでの寸法
() 内寸法は、柱：120角の寸法

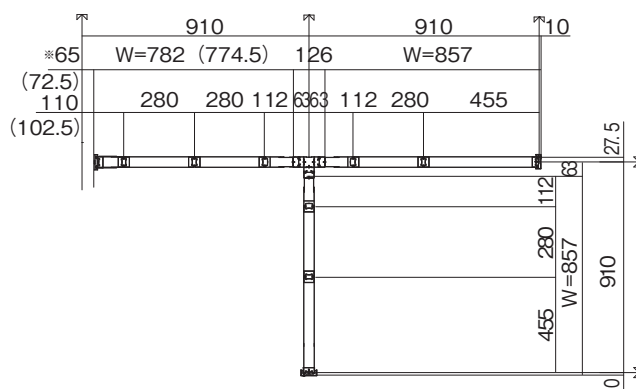
W:05の場合
(シースルーパネルの場合のみ
対応可能)



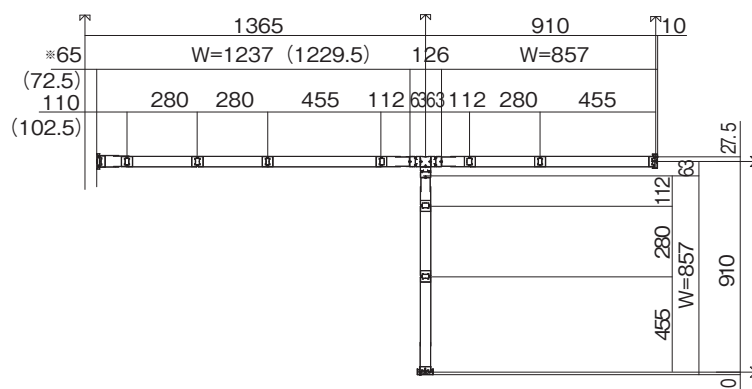
注1)シースルーパネル240幅は特寸対応となります。

壁-L・Tジョイント間でのW:05納まりの場合は、調整柱は不要となります。

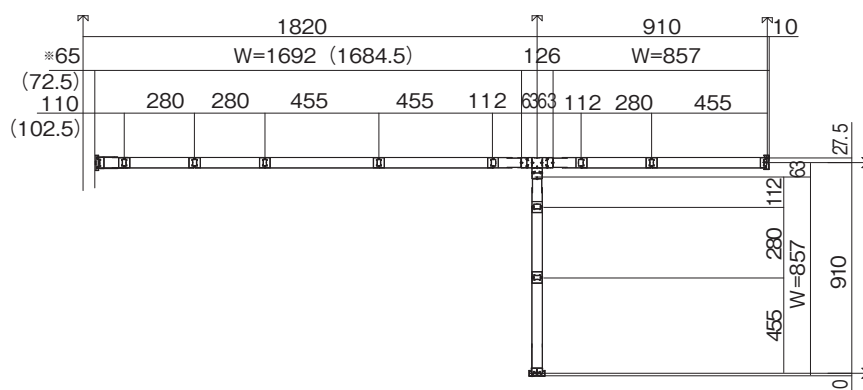
W:10の場合



W:15の場合



W:20の場合

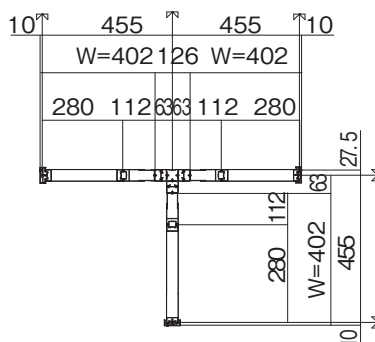


※ダブル壁の場合は対応しておりません。

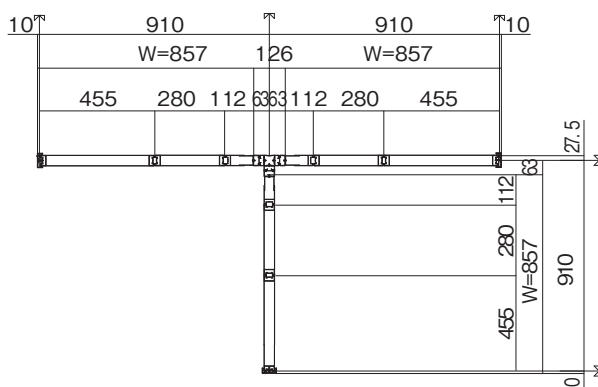
●パネル割付例（尺モジュール）

■独立 T 型

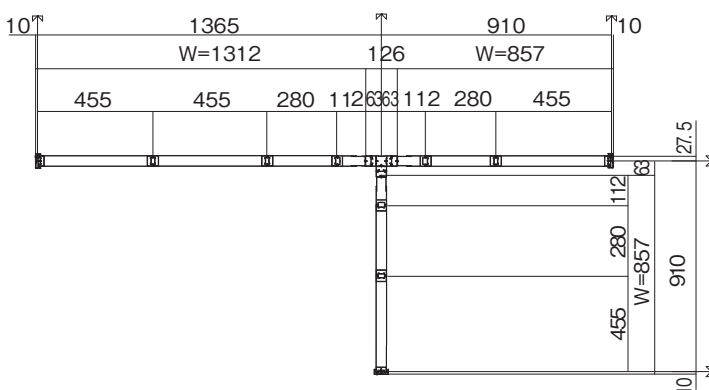
W:05の場合
（シースルーパネルの場合のみ
対応可能）



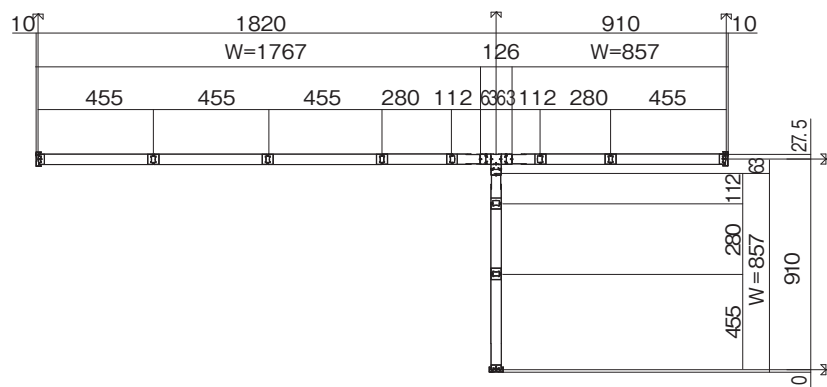
W:10の場合



W:15の場合



W:20の場合



※ダブル壁の場合は対応しておりません。

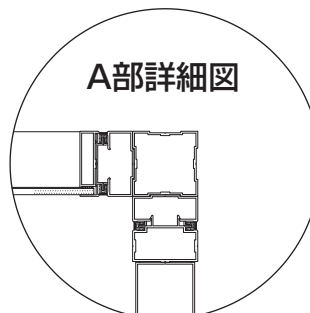
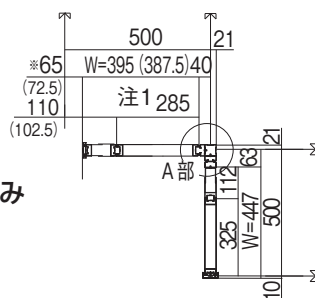
●パネル割付例（メーターモジュール）

■壁付 L 型【柱105 角】

※…柱の中心から壁の厚みまでの寸法
() 内寸法は、柱：120角の寸法

W:05の場合

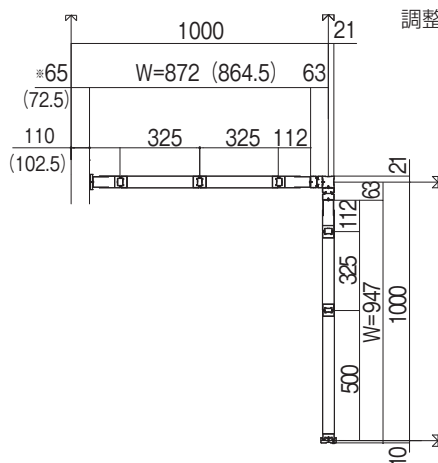
（シースルーパネルの場合のみ
対応可能）



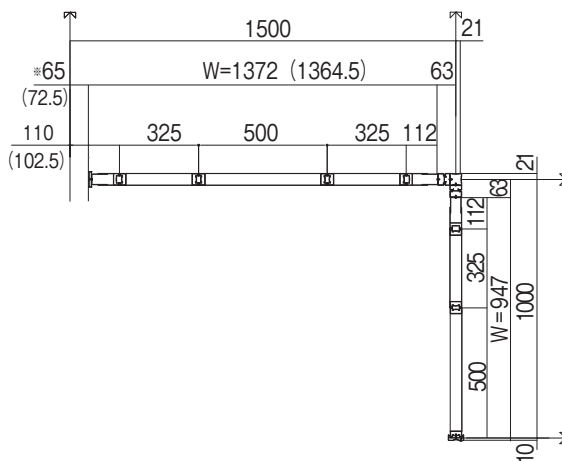
注1)シースルーパネル285幅は特寸対応となります。

壁-L・Tジョイント間でのW:05納まりの場合は、
調整柱は不要となります。

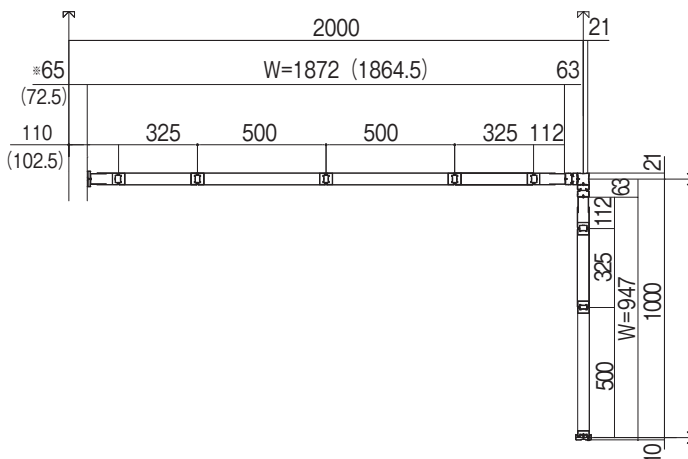
W:10の場合



W:15の場合



W:20の場合

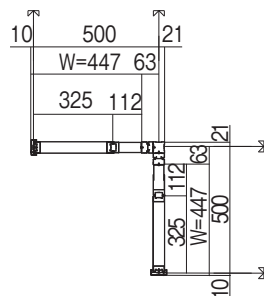


ダブル壁の場合は対応しておりません。

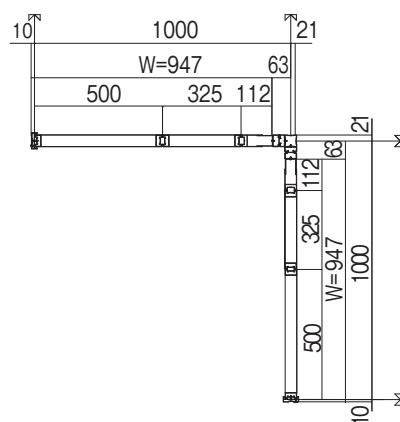
●パネル割付例（メーターモジュール）

■独立 T 型

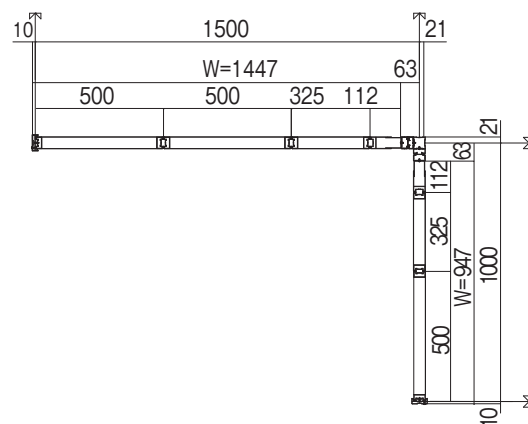
W:05の場合
(シースルーパネルの場合のみ
対応可能)



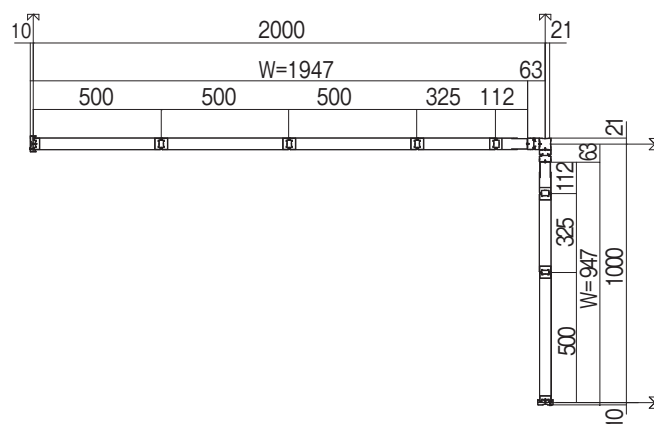
W:10の場合



W:15の場合



W:20の場合



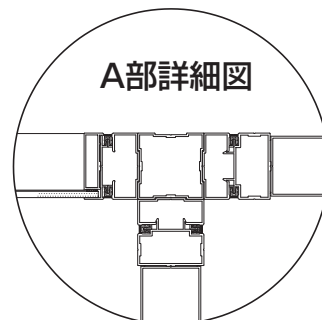
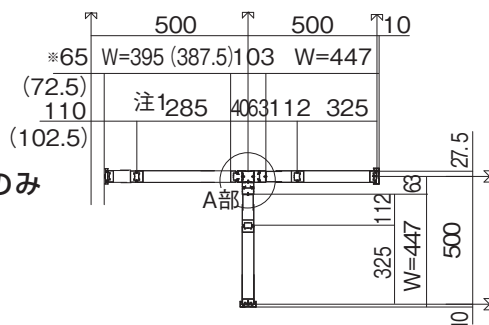
ダブル壁の場合は対応していません。

●パネル割付例（メーターモジュール）

■壁付 T 型【柱105 角】

※…柱の中心から壁の厚みまでの寸法
() 内寸法は、柱：120角の寸法

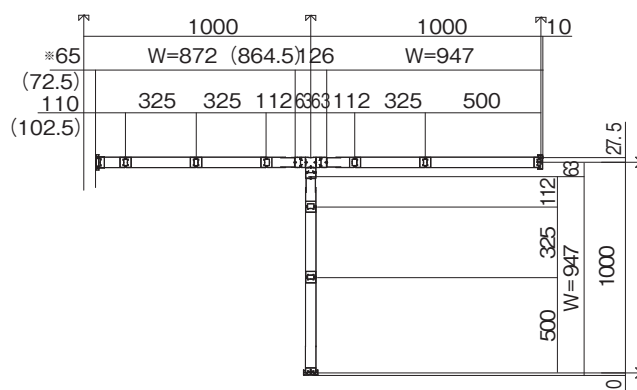
W:05の場合
(シースルーパネルの場合のみ
対応可能)



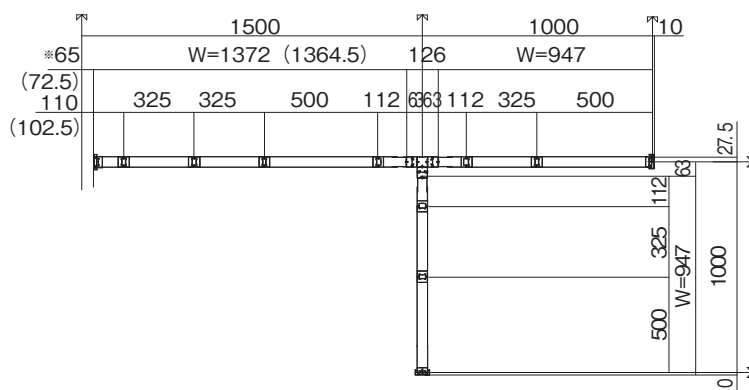
注1)シースルーパネル285幅は寸法対応となります。

壁-L・Tジョイント間でのW:05納まりの場合は、調整柱は不要となります。

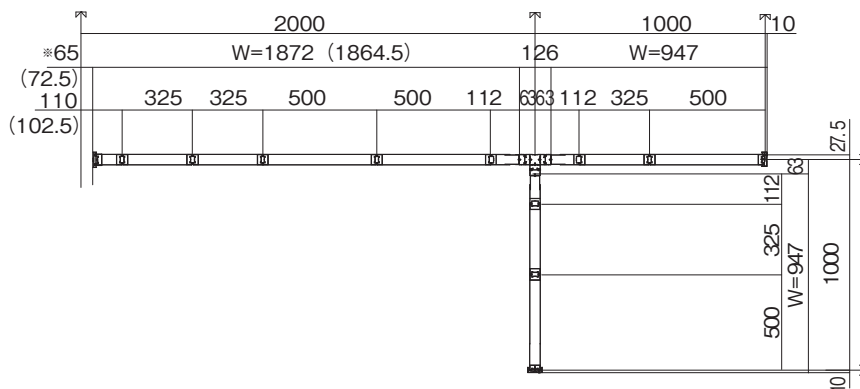
W:10の場合



W:15の場合



W:20の場合

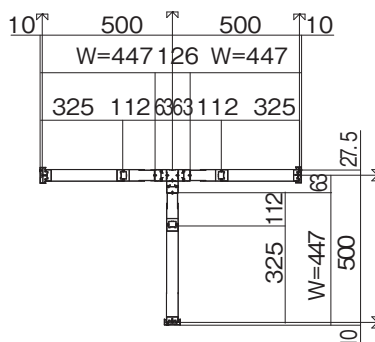


※ダブル壁の場合は対応しておりません。

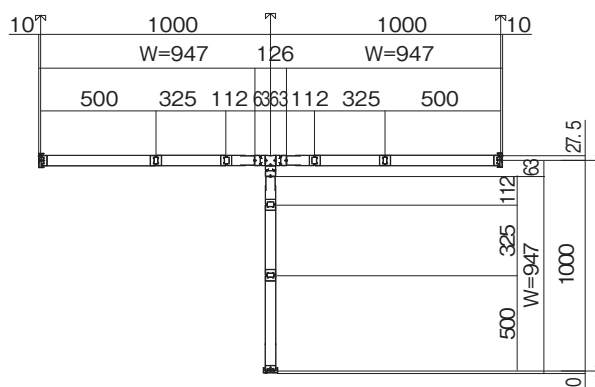
●パネル割付例（メーターモジュール）

■独立 T 型

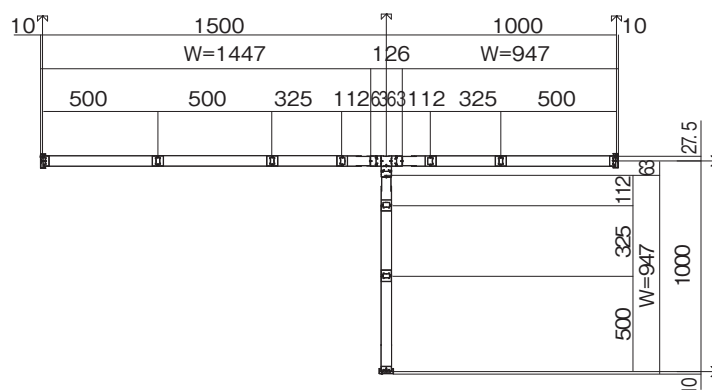
W:05の場合
（シースルーパネルの場合のみ
対応可能）



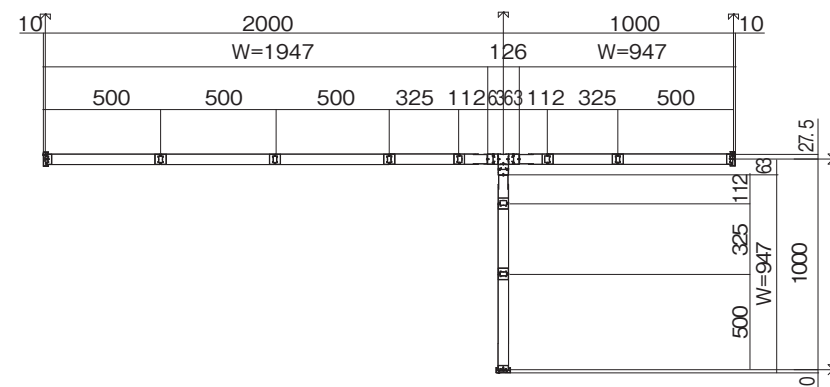
W:10の場合



W:15の場合



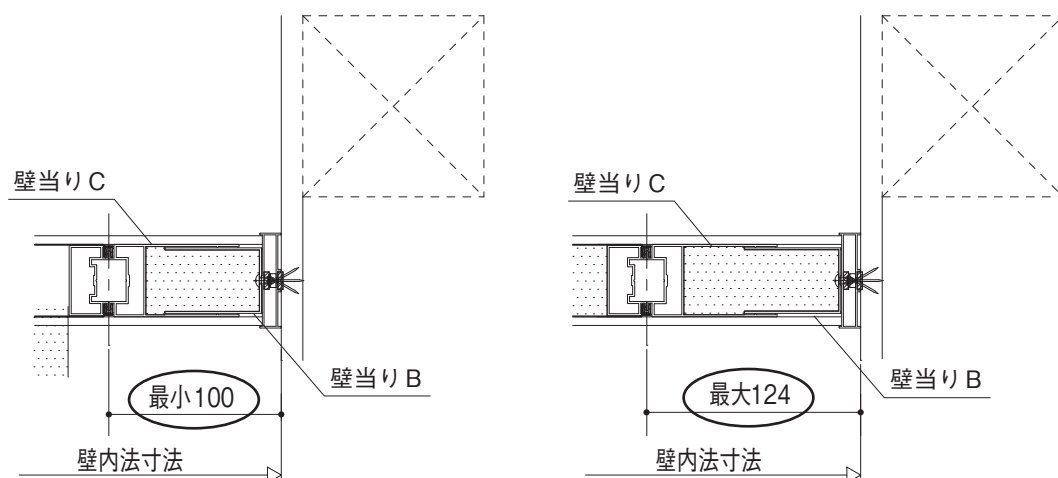
W:20の場合



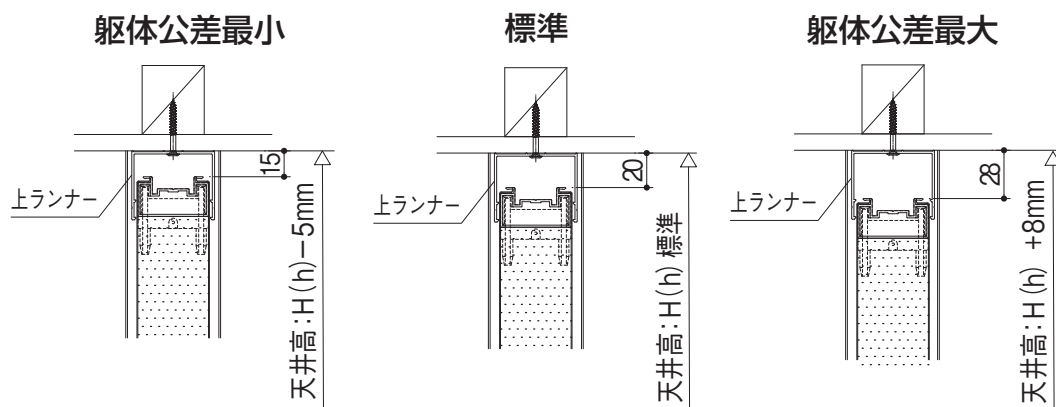
※ダブル壁の場合は対応していません。

● 躯体と調整について

W方向 W方向は壁当り部の幅を、100mm～124mmの範囲で調整可能です。



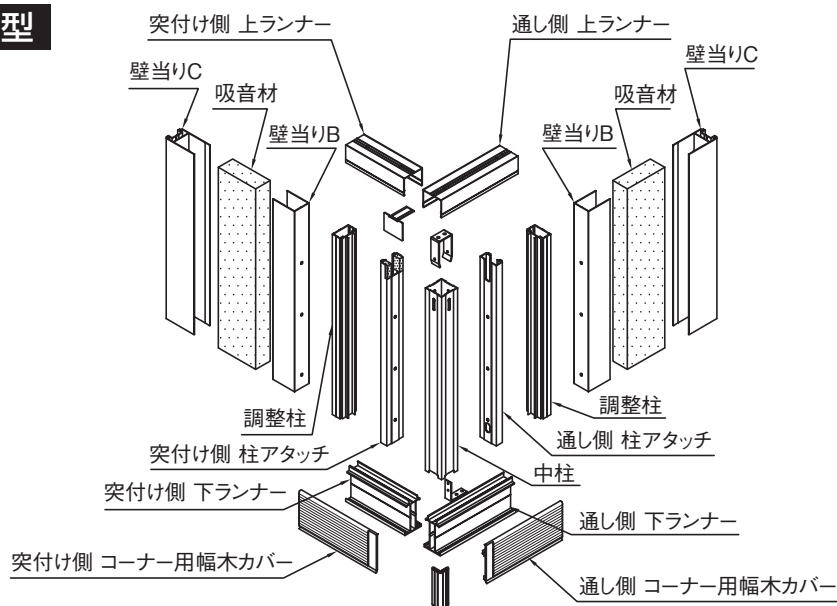
H方向 H方向は、上ランナーのみ込み部で、躯体公差+8mm, -5mmまで対応可能です。



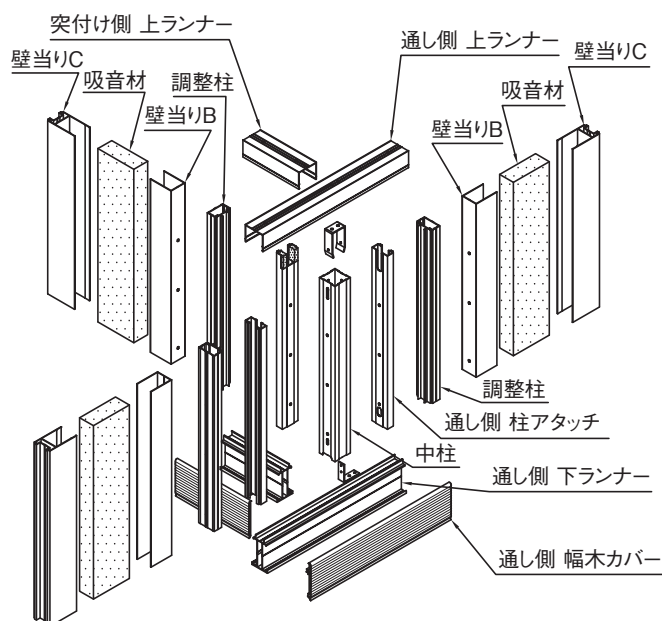
L・T型ジョイント 各部の名称

■ 各部の構成と名称は下図のようになります。

L 型



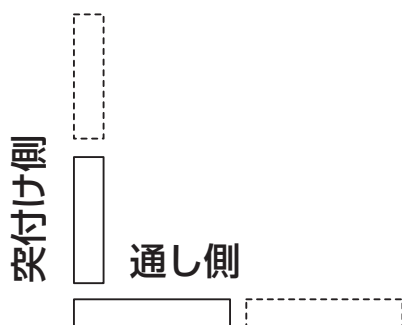
T 型



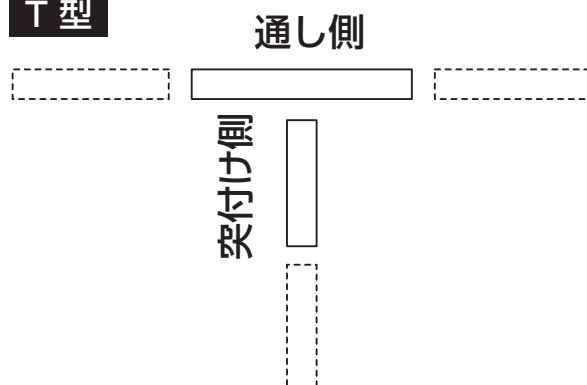
<「通し側」と「突き側」について>

- ・ 本書(取付け説明書)には、「通し側」と「突き側」という表現を用いて、取付け手順を説明しています。「通し側」とは、基準となる「可変間仕切壁」側を示しており、「突き側」とは、基準となる「通し側」に突き当てて(垂直方向)に取付ける「可変間仕切壁」側を示します。

L 型



T 型



L・T型ジョイント 取付け手順(可変間仕切壁との連結手順)

可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」を連結される場合は、本書と別冊(方立セット、壁当りセット)に同梱されている取扱い・取付け説明書を参照し、下記手順で取付けてください。

※可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」との連結による部材(上下ランナー・幅木カバー)の長さ調整は、可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」側にて行います。

1	設置条件及び確認	本書
2	位置出しとマーキング	本書
3	L・T型用 上ランナーの取付け	本書
4	L・T型用 下ランナーの取付け	本書
5	L・T型用 中柱、柱アタッチ及び調整柱の取付け	本書
6	可変間仕切壁用 壁当りAの取付け ※壁-L・T型ジョイント の納まりにのみ使用	別冊 P17、18参照
7	可変間仕切壁用 上ランナーの取付け	本書
8	可変間仕切壁用 下ランナーの取付け	本書
9	可変間仕切壁用 壁当りB・Cの取付け ※壁-L・T型ジョイント の納まりにのみ使用	別冊 P26、27参照
10	L・T型用 調整材(壁当りB・C)の取付け	本書
11	パネルの建込み	別冊 P27、28参照
12	L・T型用 目地カバーの取付け	本書
13	可変間仕切壁用 目地カバーの取付け	別冊 P31参照
14	方立の取付け	別冊 P29、30参照
15	L・T型用 幅木カバーの取付け	本書
16	可変間仕切壁用 幅木カバーの取付け	別冊 P32参照

※別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」は、方立セット、壁当りセットに同梱されています。

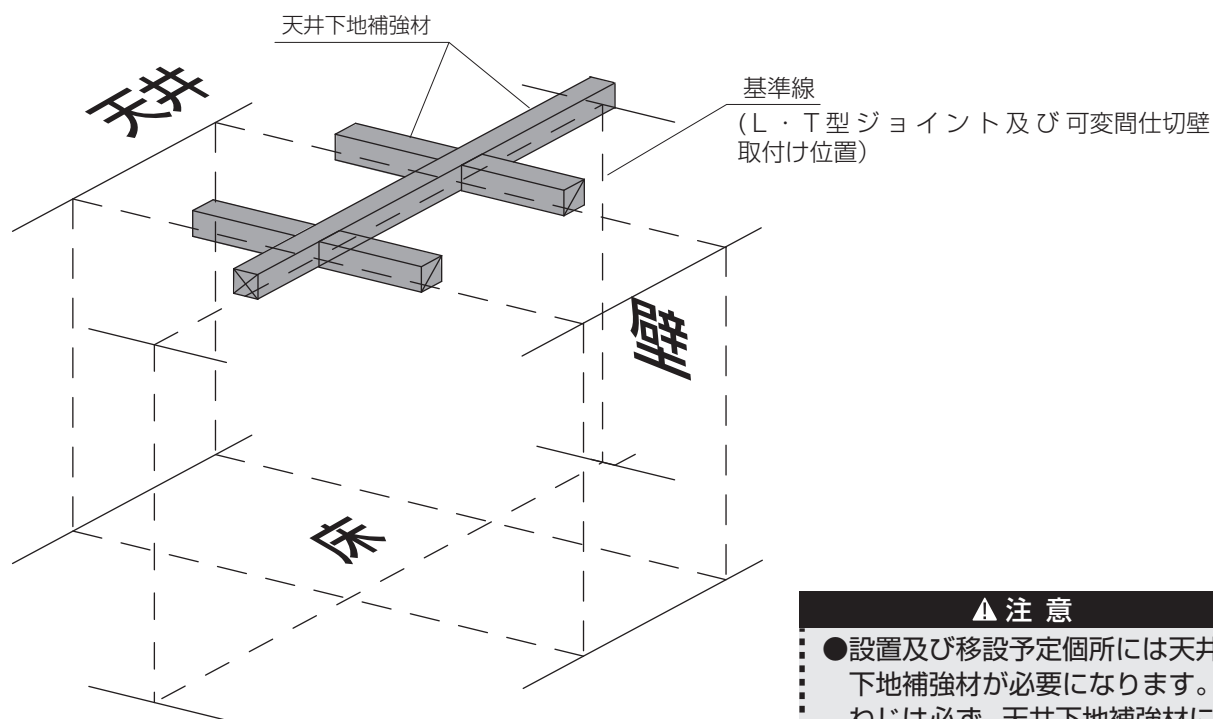
1 設置条件及び確認

1 床材、壁材、天井材の条件の確認

- ①. 床材がフローリングであることを確認してください。フローリング以外の、カーペット、コルクタイル、畳等の床材には対応していません。
- ②. 床材のワックスがシリコン系の場合、メカニカルファスナーの接着が十分に得られない場合があります。そのため、ワックスがシリコン系のものには対応していません。また、フローリングの表面塗料がセラミックの場合も対応していません。
- ③. 床暖房のある居室には取付けることはできません。
- ④. 壁材が石膏ボードでクロス張りであることを確認してください。その他の壁材には対応していません。
- ⑤. 天井材が石膏ボードまたは合板などのねじ止めができる材料であることを確認してください。

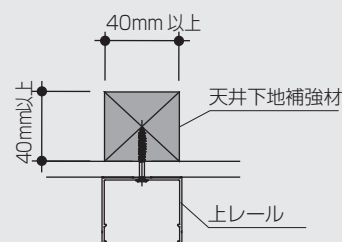
2 天井下地補強材の確認

- ・ 本製品は、L・T型に取付ける為、設置場所に天井下地補強材が下図のように、交差に配置され、各補強材が通っていることを確認してください。



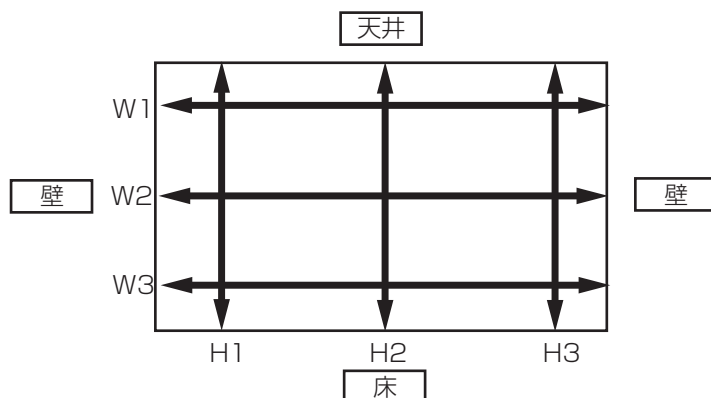
▲ 注意

- 設置及び移設予定個所には天井下地補強材が必要になります。ねじは必ず、天井下地補強材に止めてください。
- 天井補強下地材は、40mm角以上の木材を使用してください。



3 設置場所の寸法測定

- ①. 設置場所のH1～H3, W1～W3の個所を測定し、精度がH：+ 8, -5, W：±5であることを確認してください。



4 建築床の精度の確認

- ①. 建築床に凸凹や不陸のないことを確認してください。凸凹や不陸がある場合は取付けることができません。

5 建築壁の精度の確認

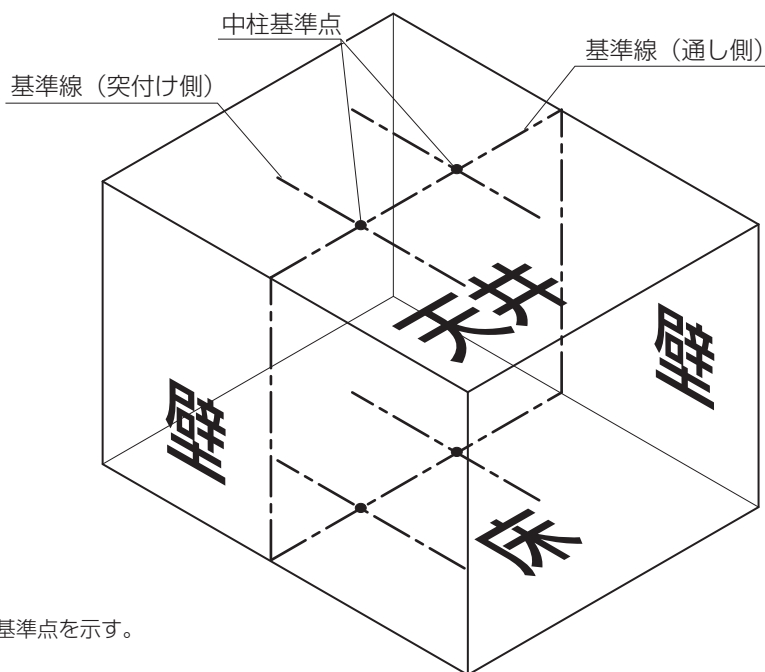
- ①. 建築壁に凸凹や不陸のないことを確認してください。凸凹や不陸がある場合は取付けることができません。

2 位置出しとマーキング

- ① レーザー墨出し器を使用して、見込み方向のセンターとなる基準線(通し側)の位置出しを、床、壁、天井に行ってください。

L・T型ジョイントの取付け場所に基準線(通し側)に対して垂直に基準線(突付け側)を位置出しを床・天井に行ってください。

※基準線の位置に天井下地補強材があるかを確認してください。

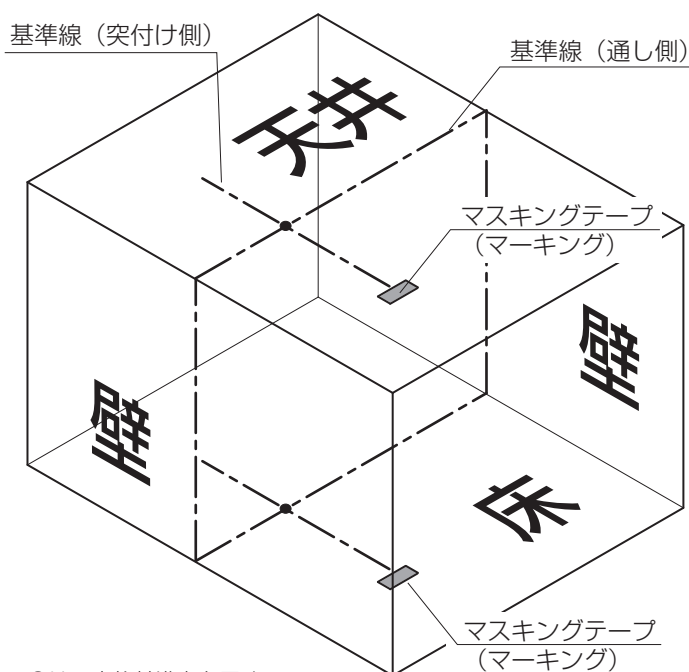


●は、中柱基準点を示す。

<使用工具>

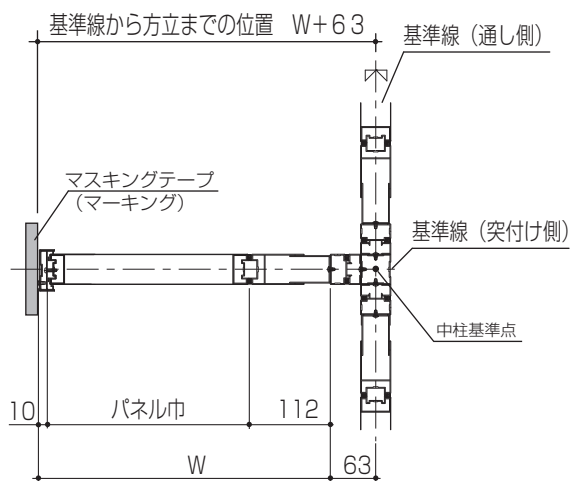
- ・レーザー墨出し器
- ・下げ振り
- ・金尺
- ・one-push (ワンプッシュ)
- ・コンベックス
- ・マスキングテープ

- ② 方立が取付く場合は、方立位置にマスキングテープでマーキングしてください。



●は、中柱基準点を示す。

方立までのマーキング詳細



- 3** 基準線をセンターに床・天井にそれぞれ、上ライナー、下ライナーを取付けるのに必要な取付け幅をマーキングしてください。マーキングの幅は、左下表1を参照してください。

※基準線の位置に、天井地下補強材があるかを確認してください。

※L・T型ジョイント - 壁の納まりの場合は、壁当りAを取付ける為、壁にも位置出しが必要となります。

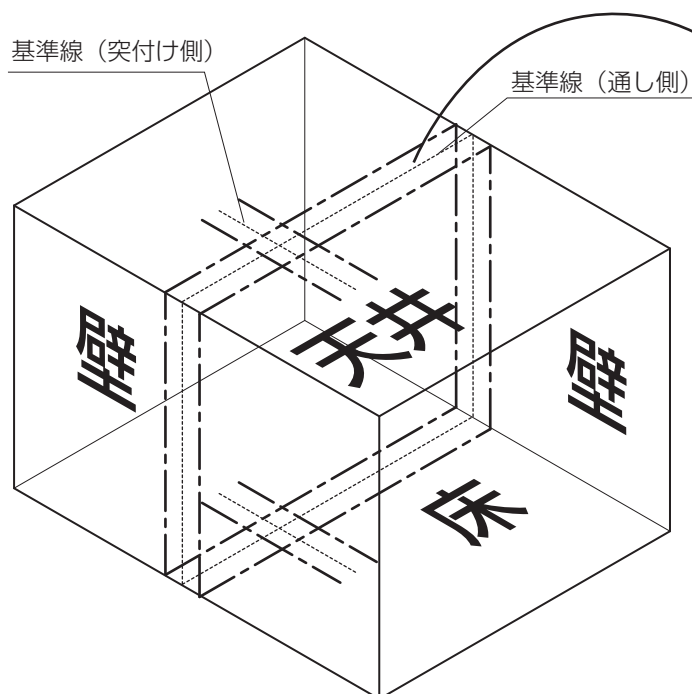


表 1

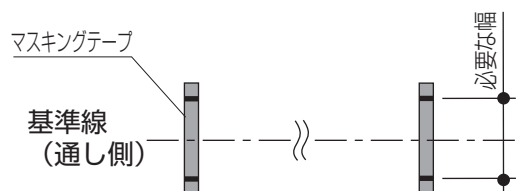
	必要な幅 (マーキング幅)
天井	48mm
壁	55mm
床	42mm

<使用工具>

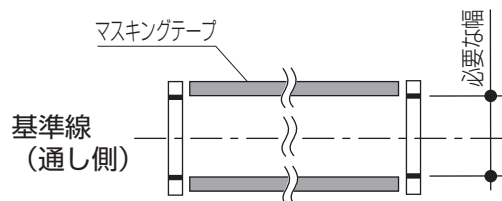
- ・レーザー墨出し器
- ・下げ振り
- ・金尺
- ・マスキングテープ
- ・コンベックス
- ・鉛筆

マーキング方法 (例)

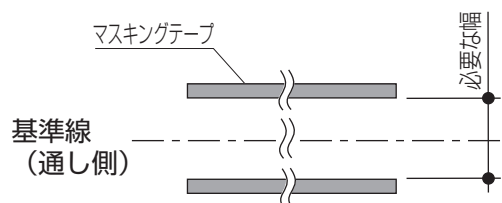
- ①. 基準線に対して垂直にマスキングテープを張り、各必要な幅を、基準線をセンターにマスキングテープの上にマーキングしてください。



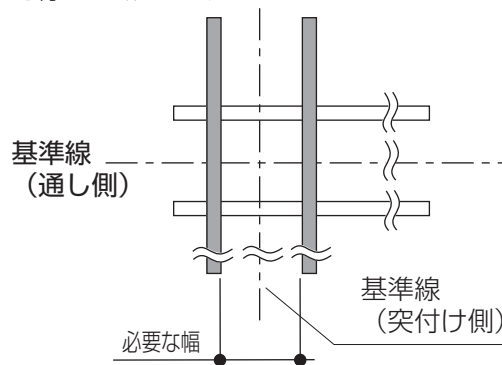
- ②. マーキングに合わせて基準線に平行にマスキングテープを張ってください。



- ③. ①でマーキングをしたマスキングテープをはがしてください。これで残ったマスキングテープが必要な幅を示すマーキングとなります。



- ④. ①～③の作業手順と同様に垂直方向にもマーキングを行ってください。



3 L・T型用 上ランナーの取付け

1 上ランナーの取付け

1-1「通し側 上ランナー(長い方)」を下図の位置に取付けてください。

天井のマスキングテープに合わせて、上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。

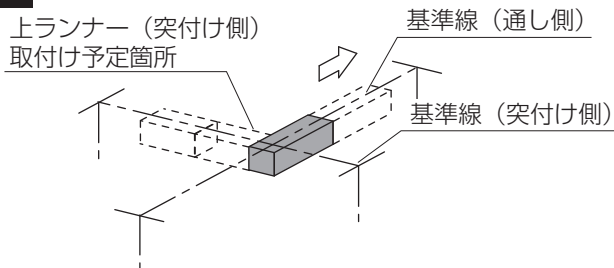
必ずL・T型「通し側 上ランナー」より取付けを行ってください。

(可変間仕切壁との連結による部材長さの調節は、可変間仕切壁側にて行います。)

<使用工具>

- ・ プラスドライバー
- ・ コンベックス

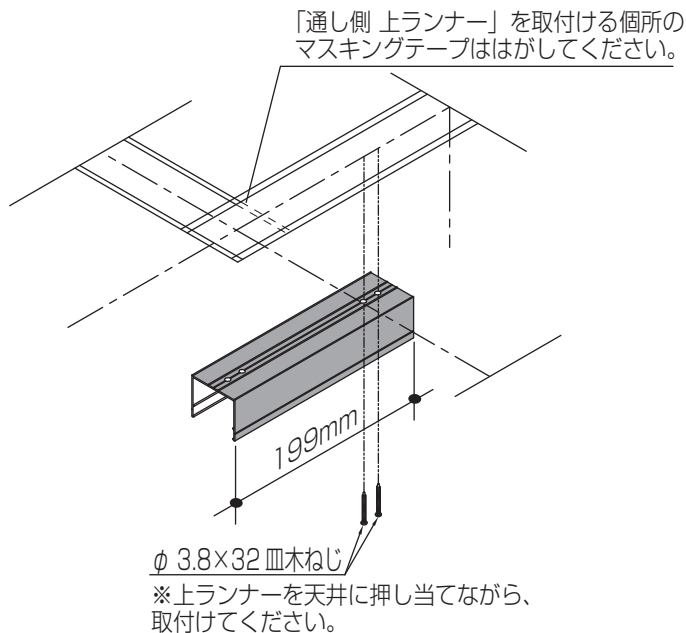
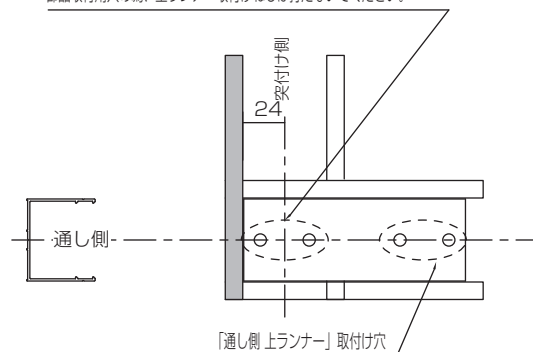
L 型 マスキングテープの反対側(可変間仕切壁と連結する側)の連続する2つの穴を使用して、天井に取付けてください。



取付け位置詳細図

下図のように突付け側のマスキングテープの位置に上ランナーを合わせてください。

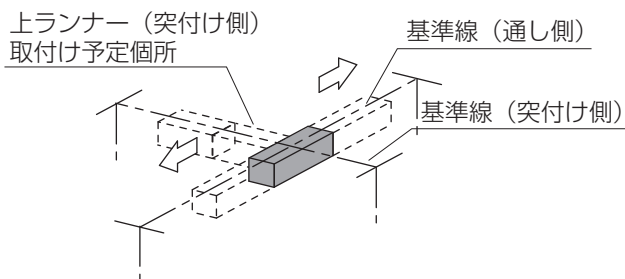
部品取付用穴の為、上ランナー取付けねじは打たないでください。



φ 3.8×32 皿木ねじ

※上ランナーを天井に押し当てながら、取付けてください。

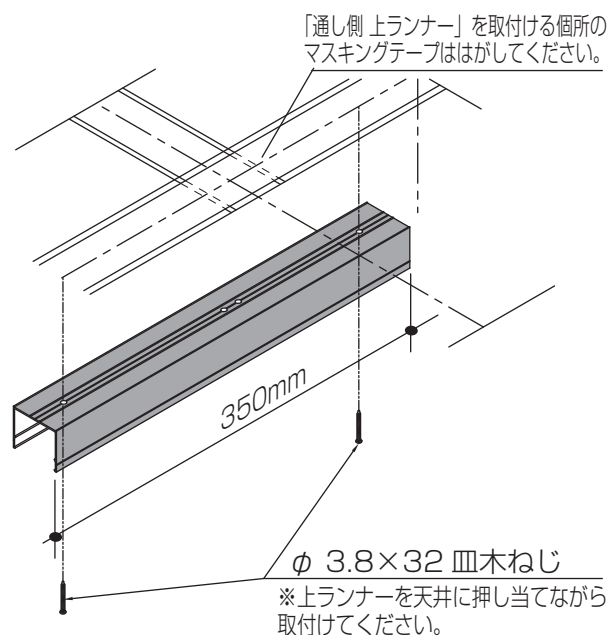
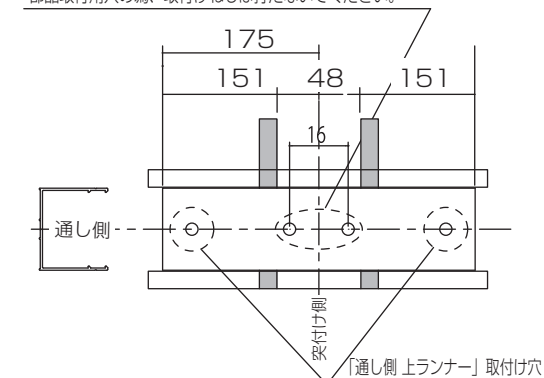
T 型 下図の「取付け詳細図」のようにセンターの位置(マスキングテープの内々から両側：151mm)になるように取付けてください。



取付け位置詳細図

下図のように2つの穴の中心が基準線のセンターになるように合わせてください。

部品取付用穴の為、取付けねじは打たないでください。



φ 3.8×32 皿木ねじ

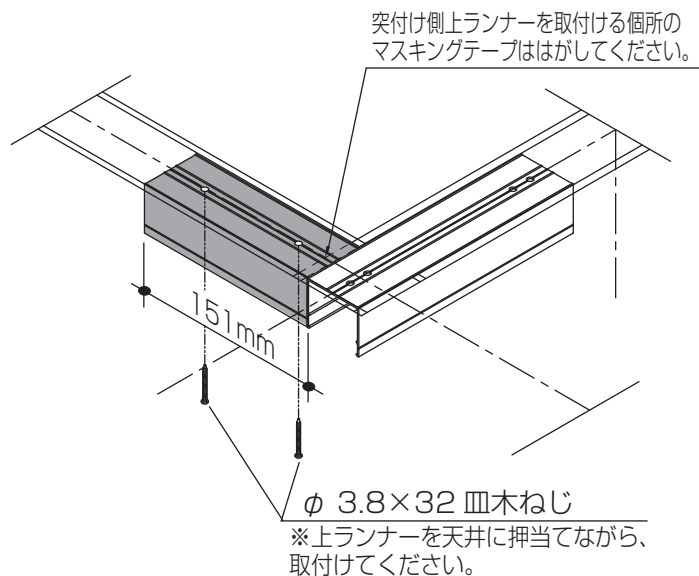
※上ランナーを天井に押し当てながら、取付けてください。

1-2「突付け側 上ランナー(短い方)」の取付け

「通し側 上ランナー」に突き当て、天井のマーキングに合わせて、上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。

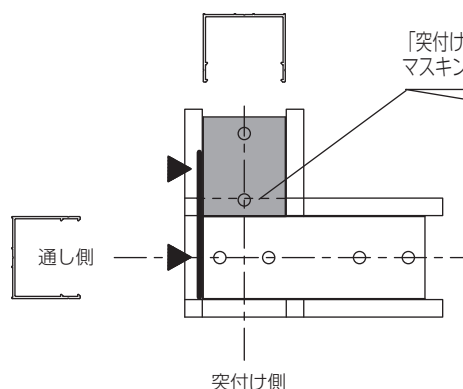
L・T型 共通

※下図は、L型にて表示しています。

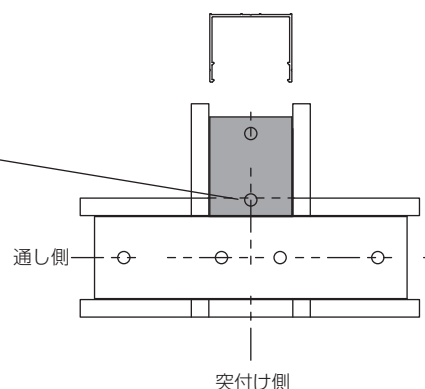


L 型

下図のように突付け側 上ランナーの側面と通し側 上ランナーの小口面 (▲) が揃っていることを確認してください。



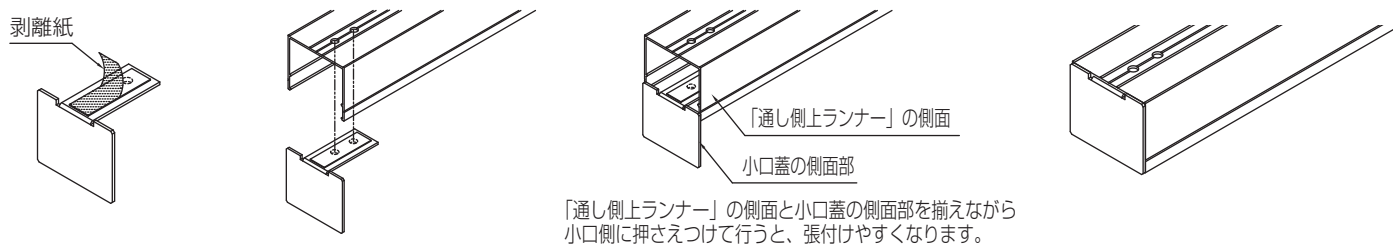
T 型



2 小口蓋 (L型のみ) および中柱固定金具の取付け ※中柱固定金具の取付けについては、P22に記載してあります。

2-1「小口蓋」の取付け

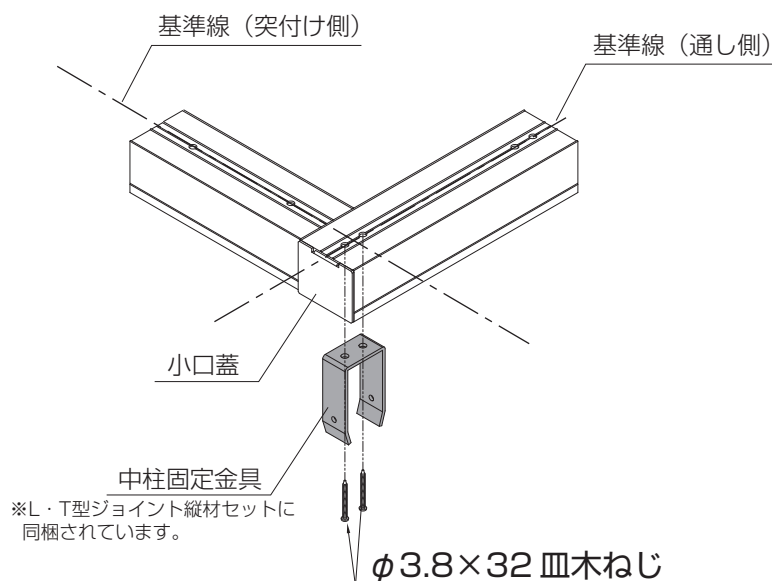
L 型の「通し側 上ランナー」を取付け後、コーナーの出隅となる小口に小口蓋を張付けてください。小口蓋にある両面テープのリケイ紙をはがし、連続する2つの穴を合わせて張付けてください。



2-2 中柱固定金具の取付け

※中柱固定金具は、L・T型ジョイントセット内に同梱されています。

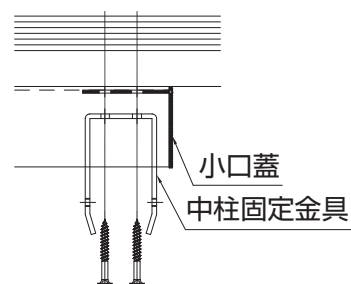
L 型 小口蓋を張付け後、中柱固定金具の取付け穴を小口蓋の取付け穴に合わせて、共締めを行ってください。



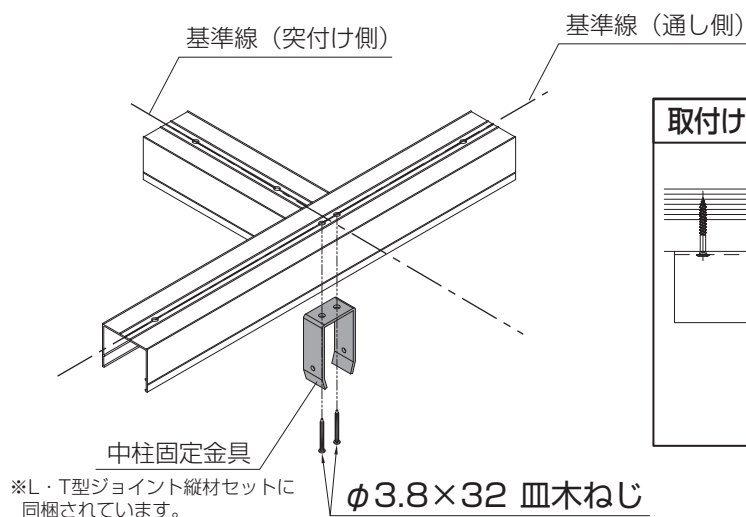
＜使用工具＞

- ・ プラスドライバー
- ・ コンベックス

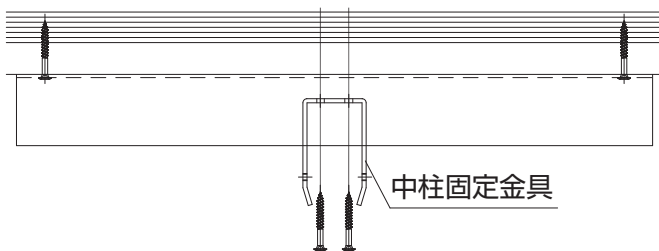
取付け詳細図



T 型 中柱固定金具の取付け穴を、通し側 上レール中央部の連なる2つの穴に合わせて、取付けを行ってください。



取付け詳細図



4 L・T型用下ランナーの取付け

お願い

※設置前に床面の汚れなどをキレイに拭取ってください。床面に汚れなどがある場合、十分な接着ができなくなります。

<使用工具>

・ウエス
・ハサミ

1 L・T型用 メカニカルファスナーの張付け

1-1 「通し側 メカニカルファスナー(フック)」(床面側)を下図のように張付けてください。

メカニカルファスナー(フック)を前項で張付けた床面のマーキングのセンターになるように張付けてください。

※.メカニカルファスナーの張付け面に空気が入らないようにしてください。

※.メカニカルファスナーにゴミなどが付着しないようにしてください。

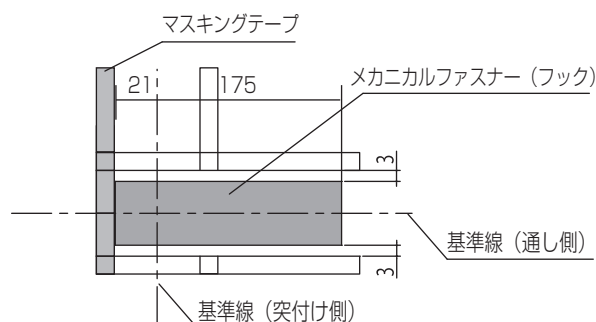
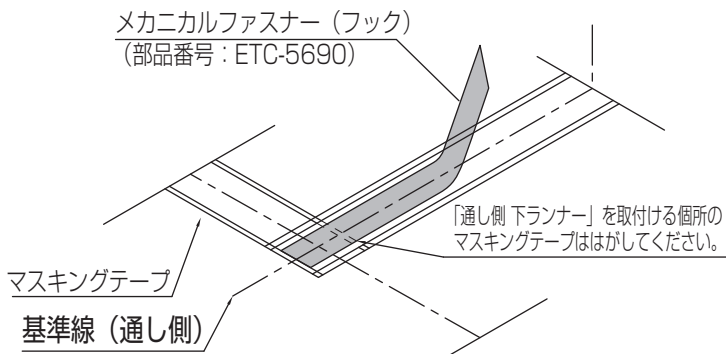
※.メカニカルファスナーのつなぎ目は、メカニカルファスナー同士が重ならないように張付けてください。

L 型

「通し側 メカニカルファスナー(フック)」を196mmに切断後、メカニカルファスナーの片側を交差するマーキングに合わせて張付けてください。(残りのメカニカルファスナーは使用しますので、捨てないでください。)

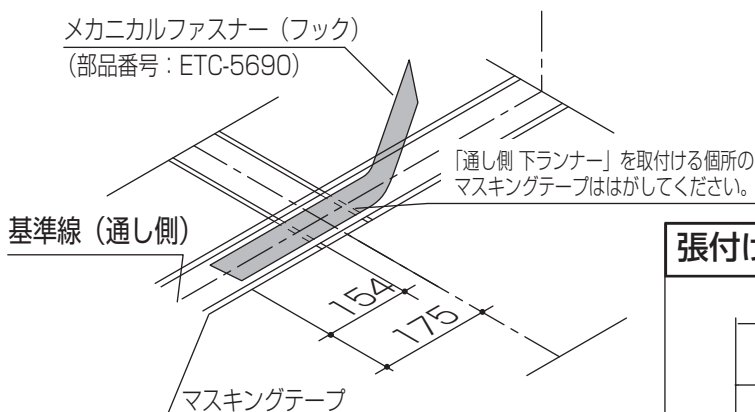
張付け詳細図

下図のように突付け側のマスキングテープの位置に合わせてください。

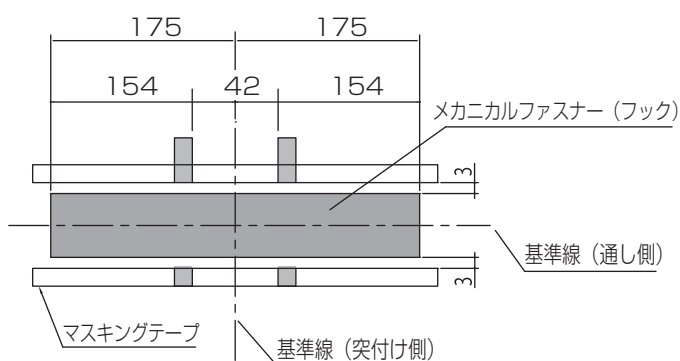


T 型

「通し側 メカニカルファスナー(フック)」を350mmに切断後、下図の「張付け詳細図」のようにセンターの位置(マスキングテープの内々から両側：154mm)になるように張付けてください。(残りのメカニカルファスナーは使用しますので、捨てないでください。)



張付け詳細図

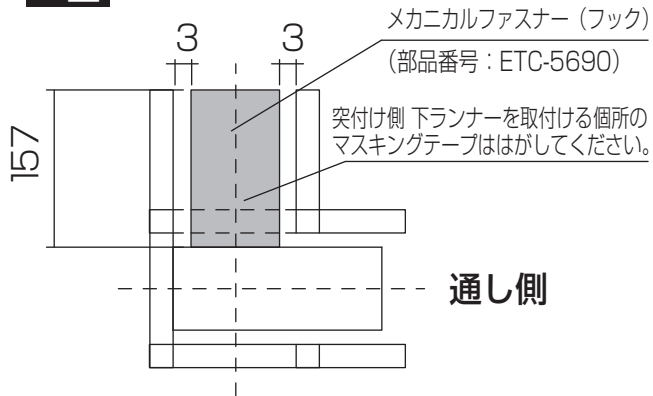


1-2「突付け側 メカニカルファスナー」の張付け(床面側)

※P23「1-1」で残りのメカニカルファスナー(フック)を使用します。

通し側のメカニカルファスナー張付けと同様に、157mmに切断後、下図のように通し側のメカニカルファスナーに合わせて、突付け側のメカニカルファスナーを張付けてください。

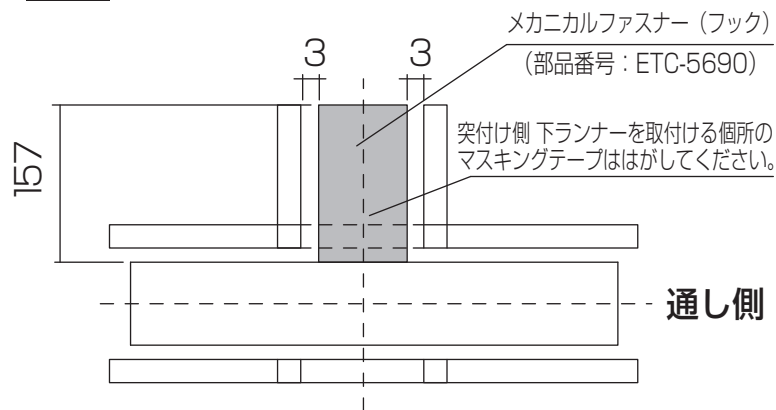
L 型



<使用工具>

- ・ ウェス
- ・ ハサミ

T 型

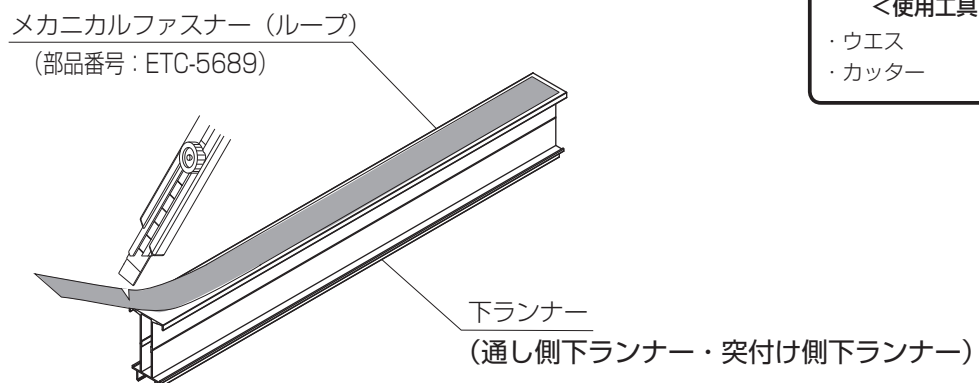


L・T型 共通

1-3「メカニカルファスナー(ループ)」の取付け(下ランナー側)

下ランナーの汚れなどを拭取り、下ランナーの寸法に合わせて、メカニカルファスナー(ループ)を張付けてください。

※通し側下ランナー・突付け側下ランナーの両方に張付けてください。



<使用工具>

- ・ ウェス
- ・ カッター

2 L・T型用 下ランナーの取付け

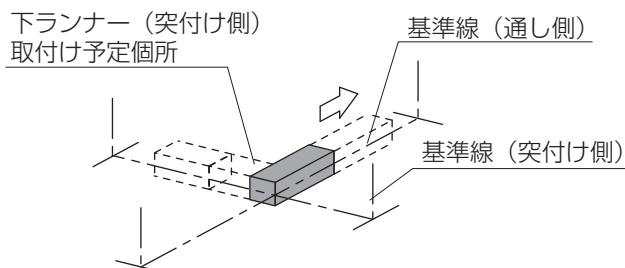
2-1「下ランナー(長い方)」を下図の位置に取付けてください。

メカニカルファスナー(フック)を付けた「通し側 下ランナー」を床面のマーキングに合わせて、下ランナーと床のメカニカルファスナーを張合わせてください。

必ず「通し側 下ランナー」より取付けを行ってください。

(可変間仕切壁との連結による部材長さの調整は、可変間仕切壁の本体側にて行います。)

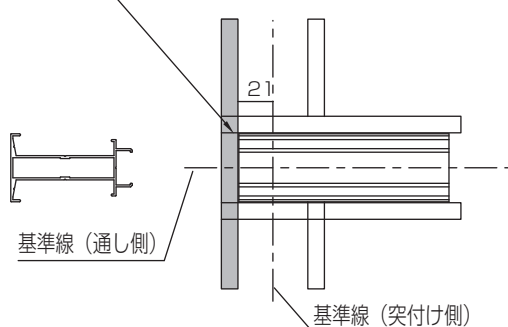
L 型 部材の片側を交差するマーキングに合わせてください。



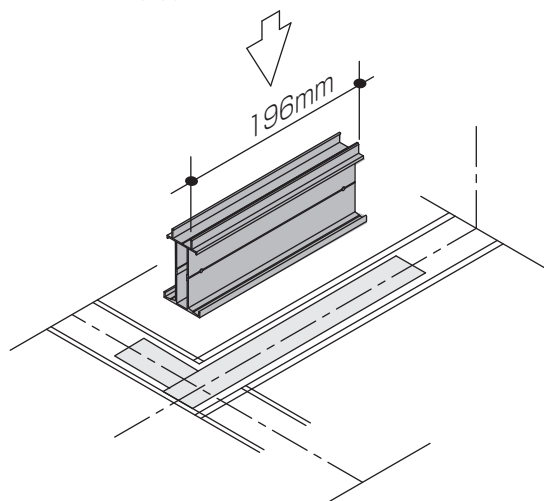
取付け位置詳細図

下図のように突付け側のマスキングテープの位置に下ランナーを合わせてください。

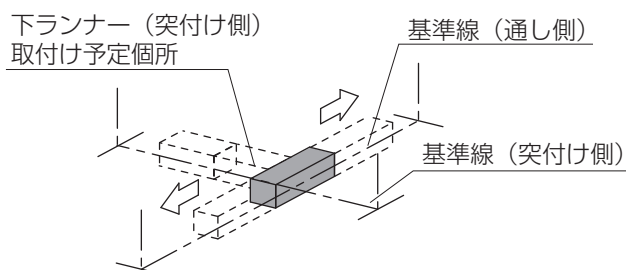
突付け側のマスキングテープの位置に合わせてください。



※下ランナーを上から圧着して、メカニカルファスナー同士をしっかりと張合わせてください。



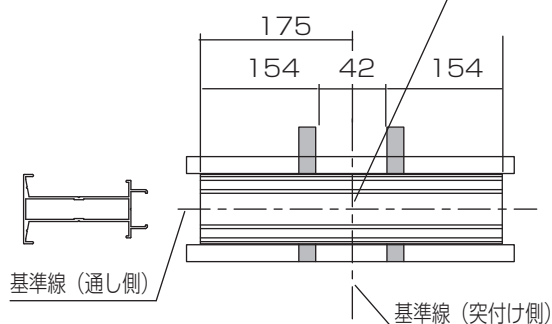
T 型 下図の「取付け詳細図」のようにセンターの位置(マスキングテープの内々から両側：154mm)になるように取付けてください。



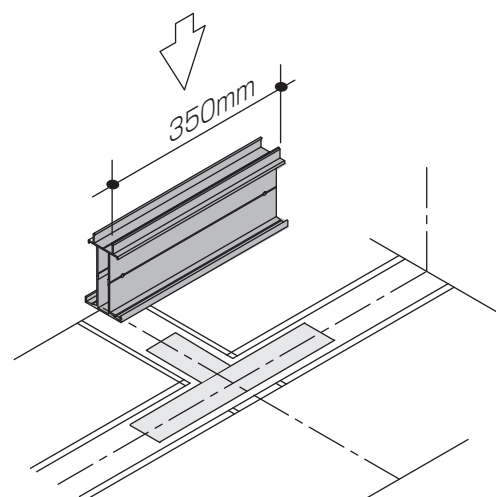
取付け位置詳細図

下図のように基準線のセンターに合わせてください。

部材のセンターが交差する基準線のセンターになります。



※下ランナーを上から圧着して、メカニカルファスナー同士をしっかりと張合わせてください。



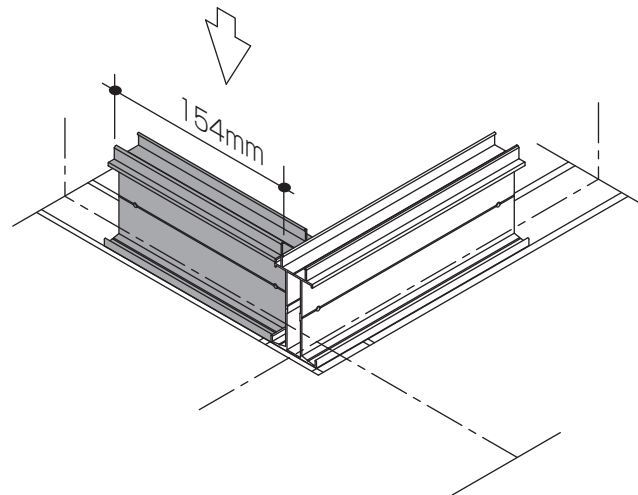
1-5「突付け側 下ランナー(短い方)」の取付け

「通し側 下ランナー」に突き当て、床面のマーキングに合わせて、下ランナーと床のメカニカルファスナーを張合わせてください。

※下図は、L型にて表示してます。

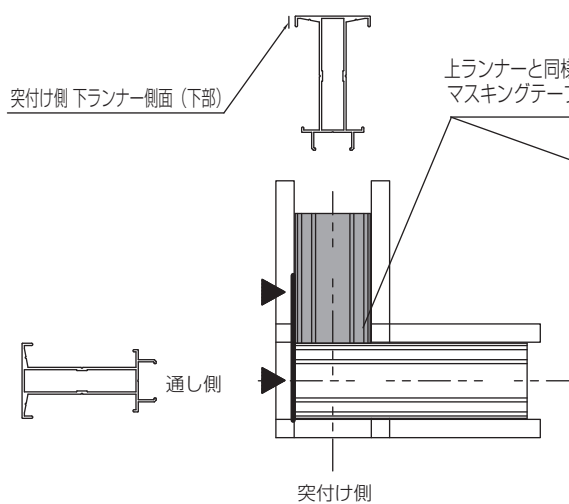
L・T型 共通

※下ランナーを上から圧着して、メカニカルファスナー同士をしっかりと張合わせてください。



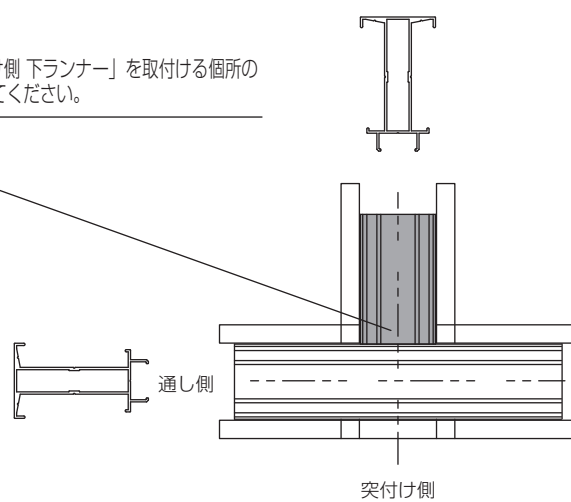
L 型

下図のように突付け側 下ランナーの側面(下部)と通し側 下ランナーの小口面(▲)が揃っていることを確認してください。



T 型

上ランナーと同様に「突付け側 下ランナー」を取付ける個所のマスキングテープをはがしてください。



5 L・T型用 中柱、柱アタッチ及び調整柱の取付け

1 中柱下部固定金具の取付け

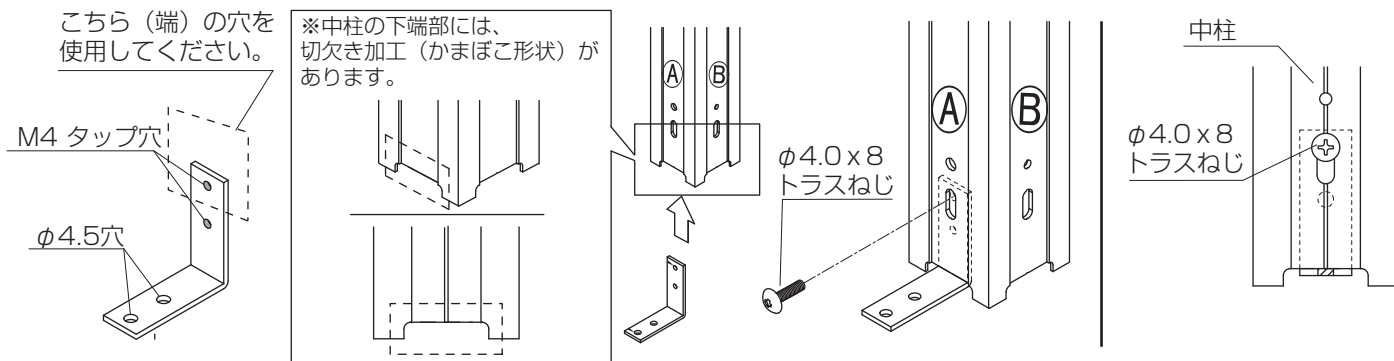
1-1 同梱されている下部固定用金具を中柱の下端(通し側)に取付けてください。

以下の「取付け位置詳細図」で位置を確認した後、取付けを行ってください。

※中柱下部固定金具には、タップ穴とφ4.5穴の2種類があり、中柱にはタップ穴(端側)を用いて取付けてください。

※中柱にある長穴の一番上の位置に合わせて、金具が滑り落ちない程度に止めてください。

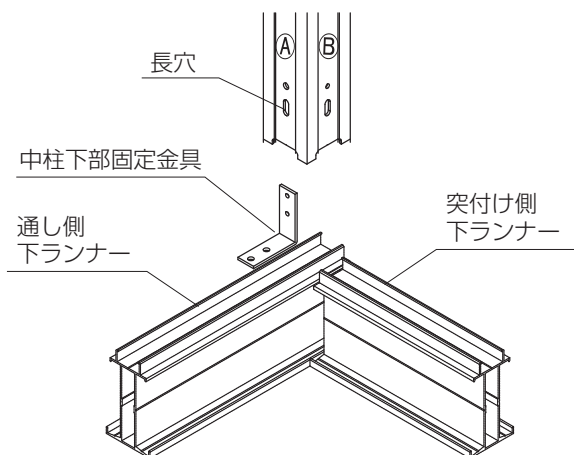
※下図は、L型にて表示しています。



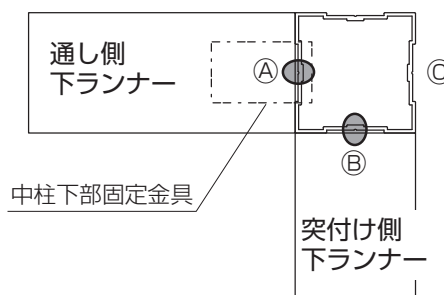
取付け位置詳細図

下部固定金具の取付け位置に注意してください。

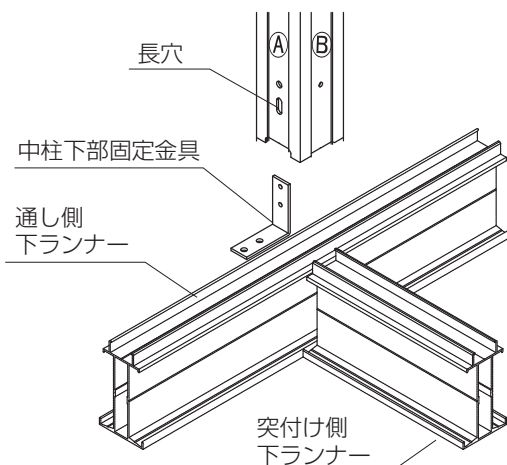
L型 下図のように、中柱の下端部には隣合う2面に長穴があいています。「通し側 下ランナー」側(下図の場合 ① 面)に、中柱下部固定金具を取付けてください。



※中柱の ① 面、② 面が必ず「可変間仕切壁」が設置される側になるように建込まれます。
● は、中柱の長穴(下端部)の位置を示しています。

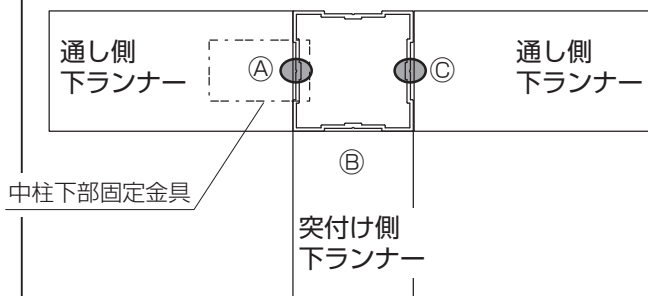


T型 下図のように、中柱の下端部には向かい合う2面に長穴があいています。「通し側 下ランナー」側(下図の場合 ① 面、③ 面どちらでも可)に、中柱下部固定金具を取付けてください。



※中柱の ① 面、② 面、③ 面が必ず「可変間仕切壁」が設置される側になるように建込まれます。

● は、中柱の長穴(下端部)の位置を示しています。



2 中柱の取付け

2-1 「通し側 上ランナー」に取付けた「中柱固定金具」に差込み、「通し側 下ランナー」の上に置いてください。

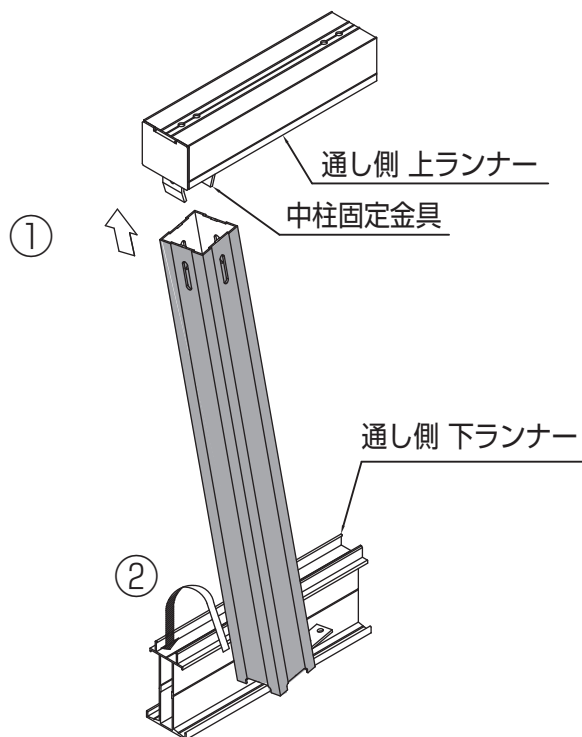
※「金尺」や「水準器」を用いて、中柱が垂直になっていることを確認してください。

※下図は、L型にて表示しています。

L・T型 共通

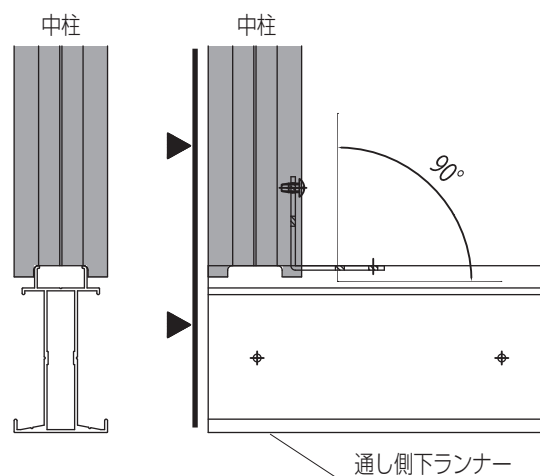
<使用工具>

- ・水準器
- ・電気ドリル
- ・プラスドライバー
- ・金尺



建て込み詳細 及び 確認事項

中柱 下端の加工溝が下ランナーを、またぐように建込んでください。
※L型の場合は、必ず「通し側 下ランナー」の端部と中柱を合わせてください。



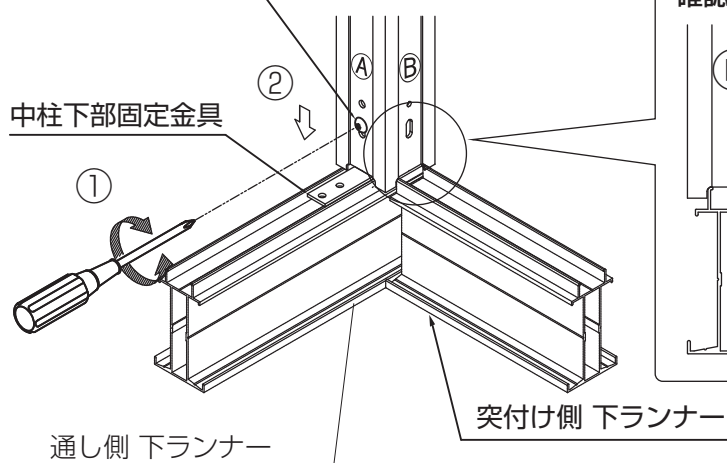
上図のように通し側 下ランナーの小口面 (▲) と中柱の側面が揃っていることを確認してください。

2-2 中柱下部固定金具の取付けねじをゆるめて、「通し側 下ランナー」に当るまで下部固定金具を下げてください。

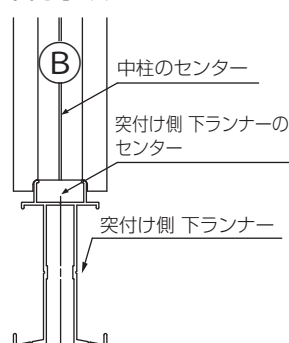
※取付けねじをゆるめ過ぎると、ねじが外れるおそれがあるため、ご注意ください。(目安…ねじ回転数: 1 回転)

※中柱のセンターが「突付け側 下ランナー」のセンターと合っていることを確認してください。

φ4.0×8 トラスねじ

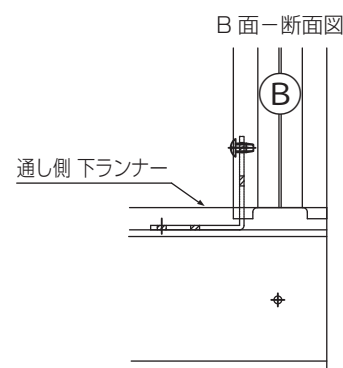


確認事項



取付け詳細

中柱下部固定金具の取付けは、下図のように下ランナーに当たるまで下げてください。



2-3 バーリングねじを用いて、中柱と「通し側 下ランナー」を固定してください。

バーリングねじにて固定後、P28でゆるめた「取付けねじ」を再度締め直し、しっかりと固定してください。

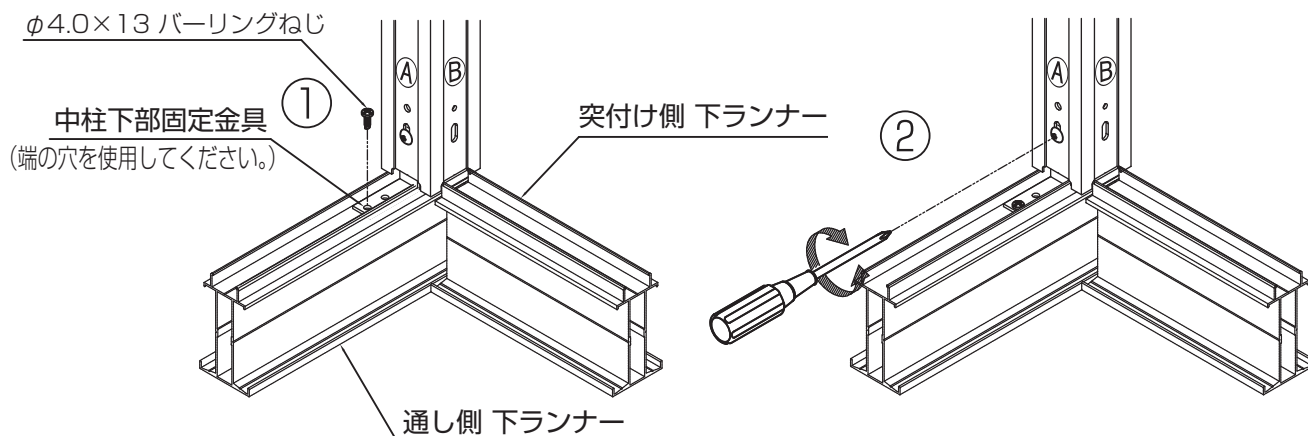
※下図の通り、端の穴を使用して取付けてください。

※バーリングねじは、締めすぎに注意して取付けてください。

※下図は、L型にて表示しています。

<使用工具>

- ・電気ドリル
- ・プラスドライバー



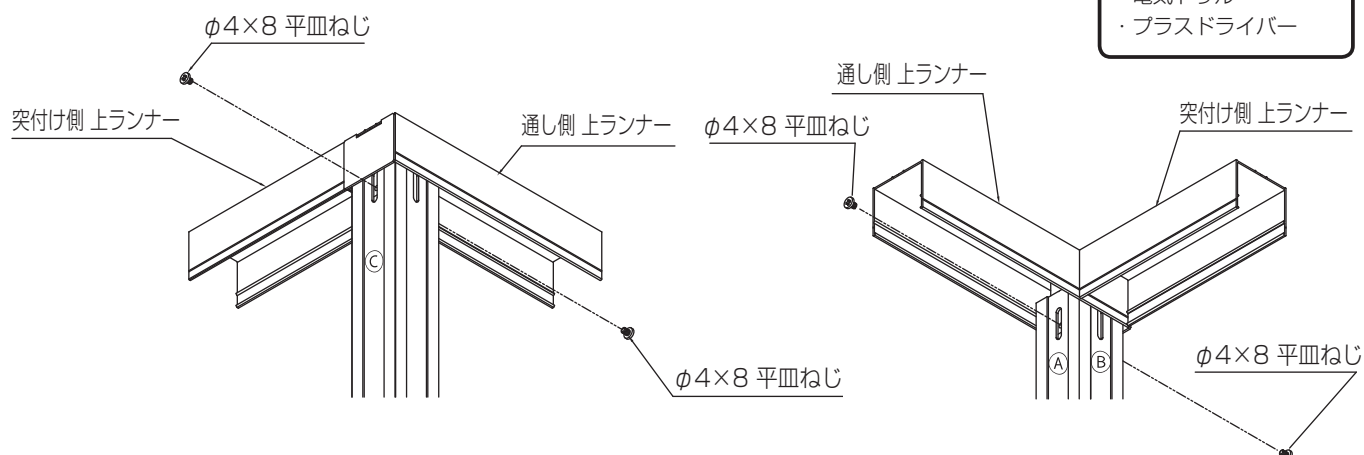
2-4 中柱の長穴(上端部)から「中柱固定金具」を取付けねじで固定してください。

(通し側方向の対面となる2面に取付けることになります。)

※下図は、L型にて表示しています。

<使用工具>

- ・電気ドリル
- ・プラスドライバー

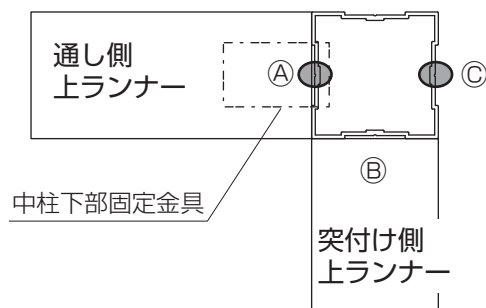


取付け位置詳細図

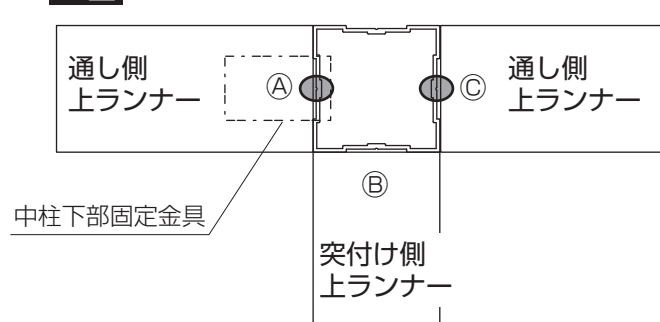
L・T型に関わらず、中柱の通し側の2面(A面、C面)にねじで取付けてください。

●は、取付けねじ(φ4×8 平皿ねじ)の必要個所を示しています。

L型



T型

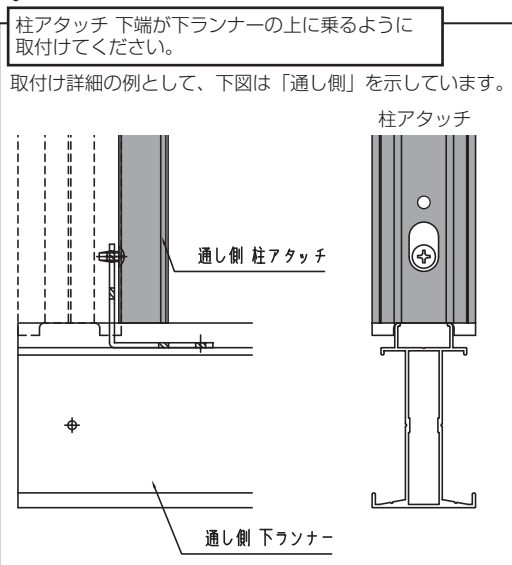
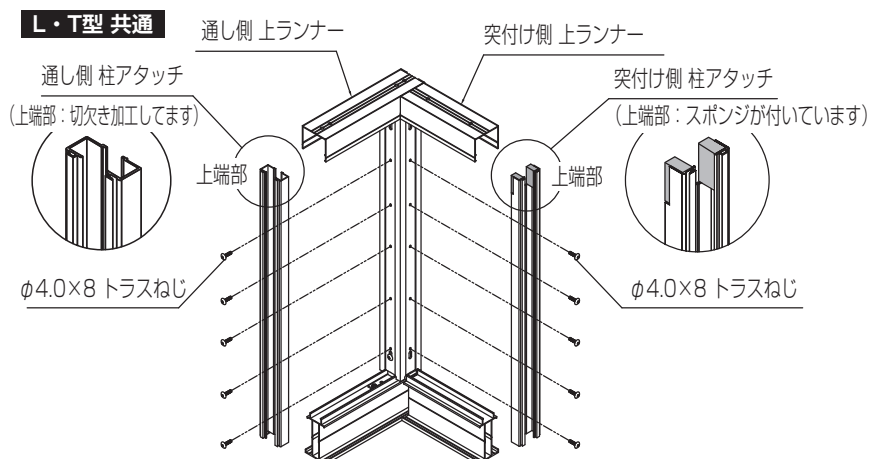


3 柱アタッチの取付け

3-1 中柱に柱アタッチを下図のようにねじで取付けてください。

※「突付け側 柱アタッチ」の上端部には、すき間隠し材が付いています。

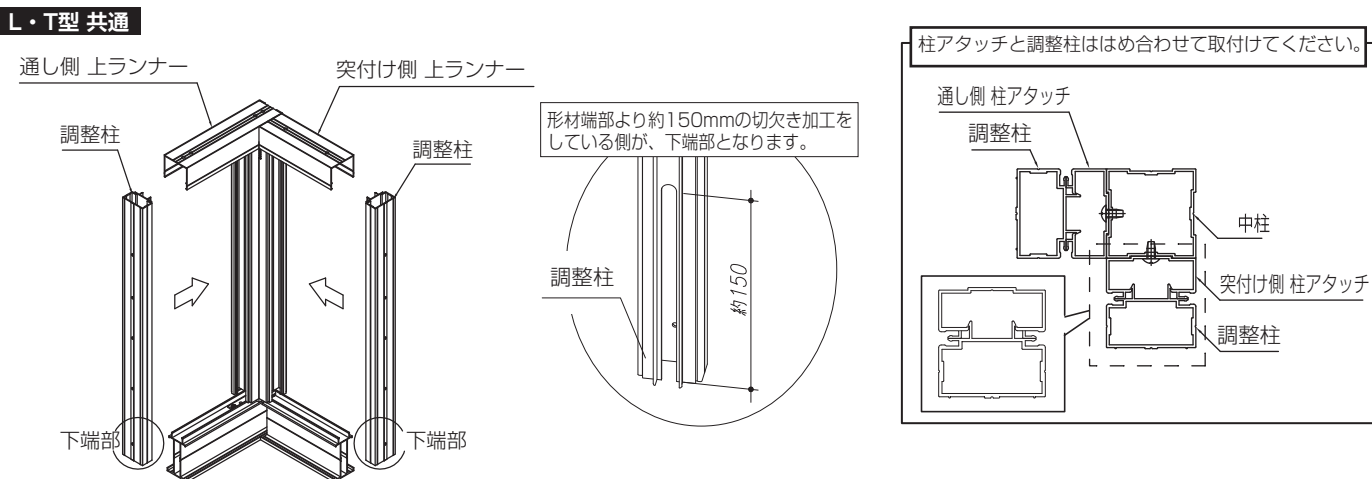
※取付けねじは、柱アタッチの丸穴全てにねじ止めしてください。



4 調整柱の取付け

4-1 柱アタッチに調整柱を下図のようにはめ合わせて取付けてください。

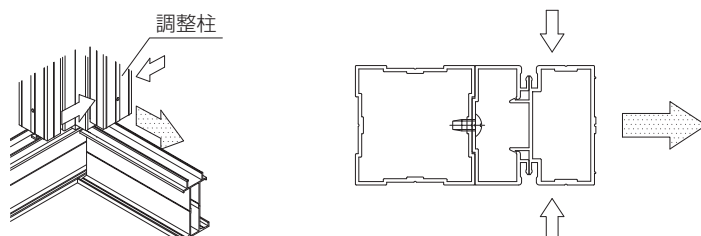
※嵌合が硬い場合は、木片などで当て木をして、下端側からプラスチックハンマーで叩き込んで取付けてください。



※調整柱を取外す場合

下図のように、調整柱下端部の側面を押しながら、手前に引いて取外してください。

※調整柱の下端のはめ合いが外れたら、下端から上端にむかって手で外すことができます。



6 可変間仕切壁用 壁当りAの取付け (壁-L・T型ジョイント納まりの場合)

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に

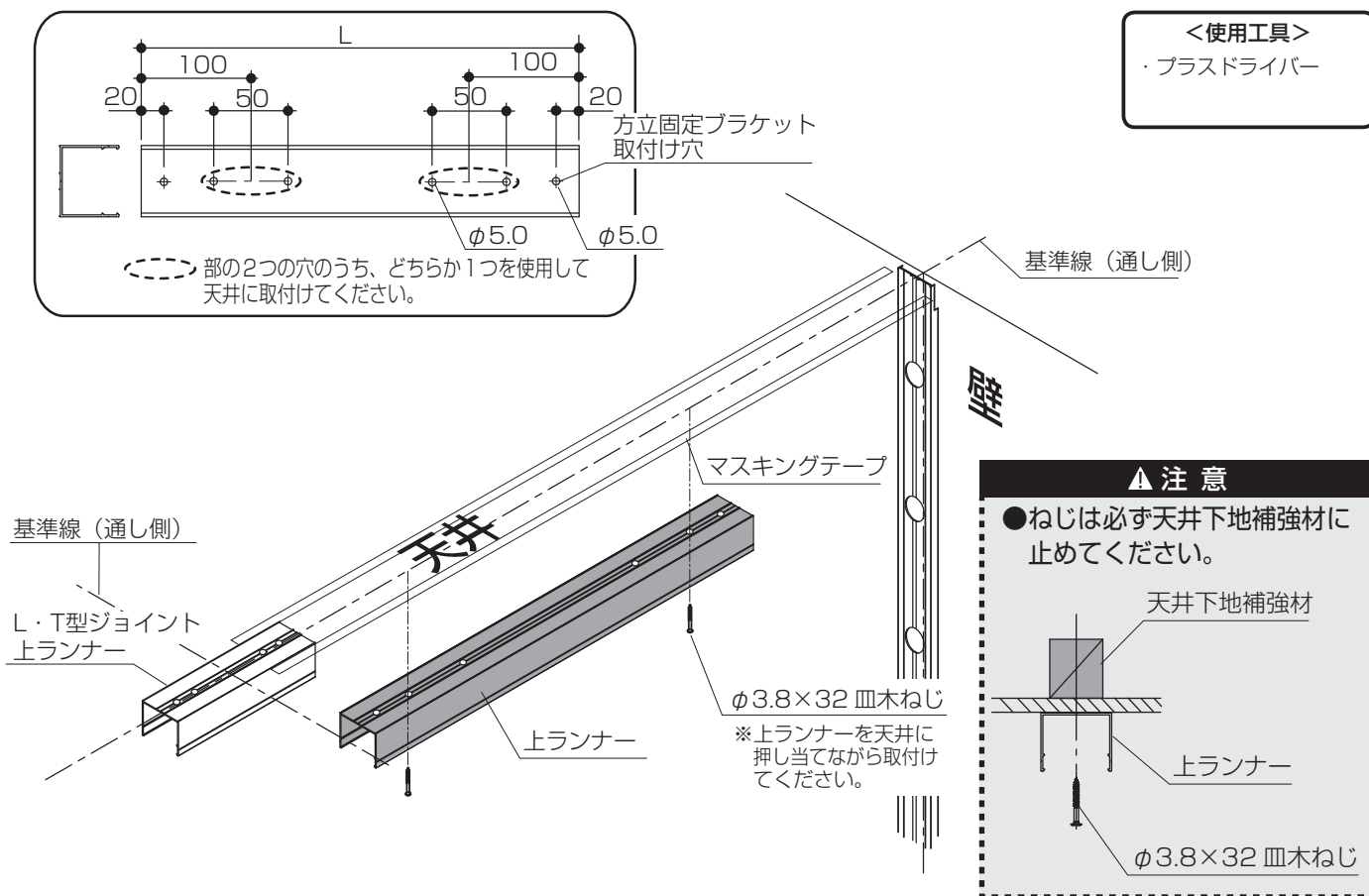
記載の P17、18 **2 壁当りAの取付け** を参照し、作業を行ってください。

7 可変間仕切壁用 上ランナーの取付け

- ❶ 天井のマス킹テープに合わせて、上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。
納まりにより取付ける上ランナーの順番が異なります。各①～③の納まり別の指示に従って取付けてください。

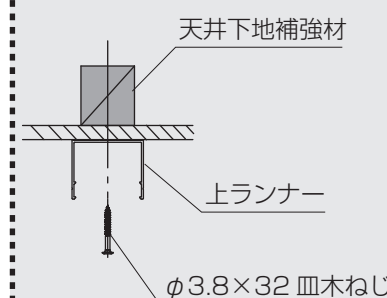
お願い

※各納まりにおいて、上ランナーを切詰める場合があります。
切詰め後、下図の「加工位置詳細図」を参照し、加工してください。



▲ 注意

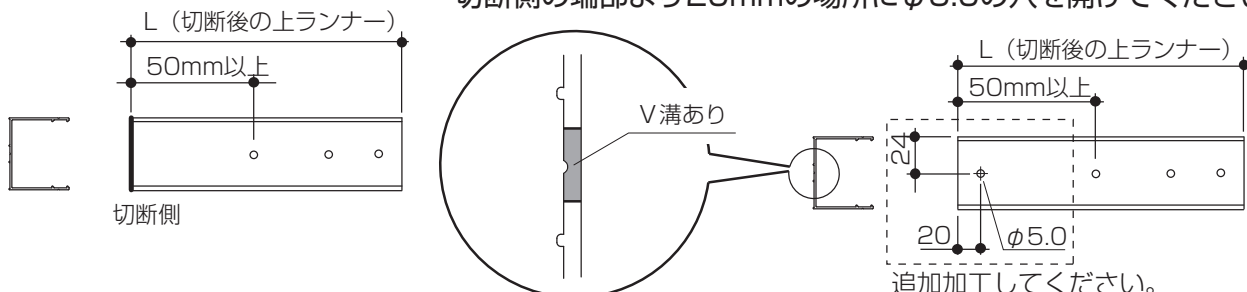
●ねじは必ず天井下地補強材に止めてください。



加工位置詳細図

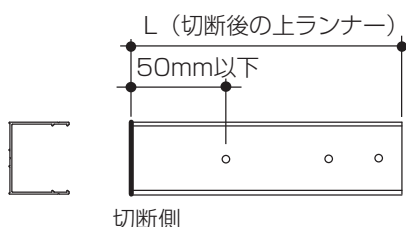
※切断側の端部より50mmの範囲に加工穴がない場合

切断側の端部より20mmの場所にφ5.0の穴を開けてください。



※切断側の端部より50mmの範囲に加工穴がある場合

加工しなくても問題ありません。
(L・T型ジョイント-方立納まりの場合、
方立を取付ける方向に注意してください。)



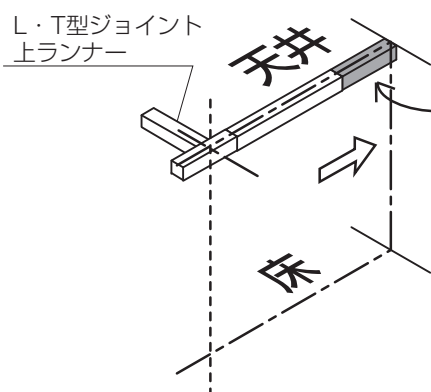
① 壁・L・T型ジョイント

L・T型ジョイントの上ランナーから建築壁に向かって順番に取付け、建築壁側の上ランナーを切詰めてください。

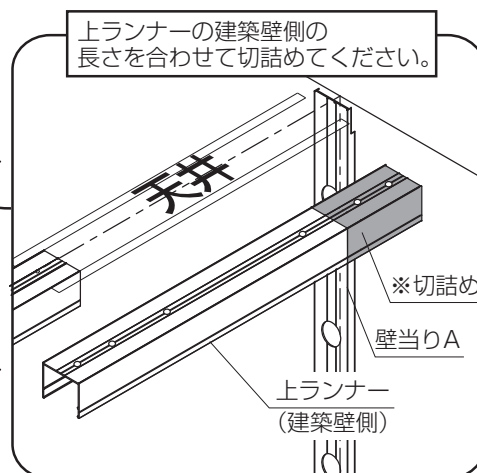
<使用工具>

- ・コンベックス
- ・電動丸ノコ

L・T型ジョイント
上ランナー

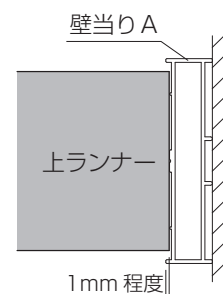


上ランナーの建築壁側の
長さを合わせて切詰めてください。



壁当り A との取合い

壁当り A と上ランナーの
取合いは下図のよう
になります。



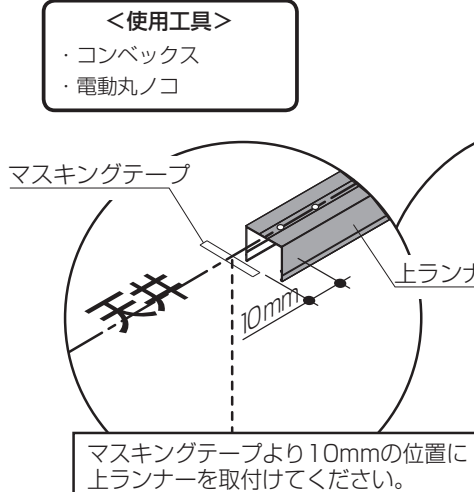
② L・T型ジョイント - 方立

1. マスキングテープ(方立位置)より -10mm の位置に上ランナーがくるように
L・T型ジョイントより取付け、方立側の上ランナーを切詰めてください。

<使用工具>

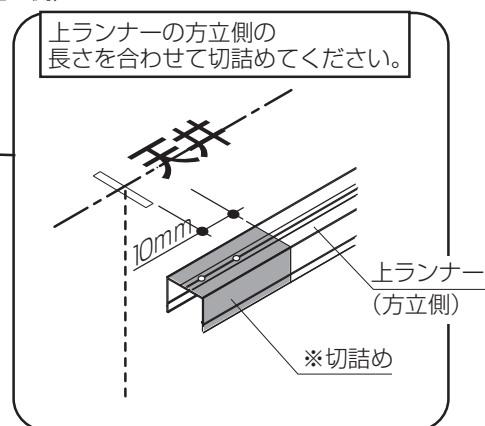
- ・コンベックス
- ・電動丸ノコ

マスキングテープ



L・T型ジョイント上ランナー
(通し側)

上ランナーの方立側の
長さを合わせて切詰めてください。

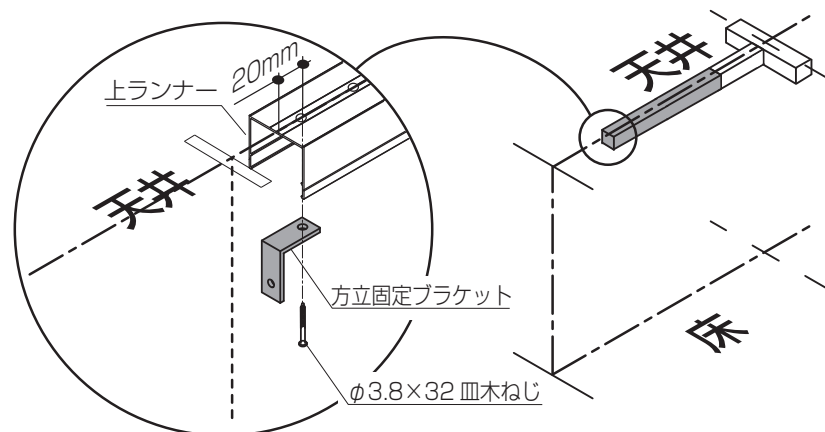
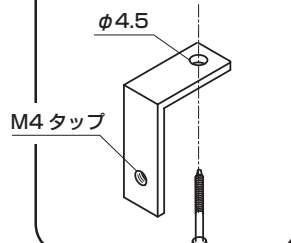


2. 方立セットに同梱されている方立固定ブラケットと上ランナーを共締めしてください。
(上ランナーの丸穴加工(端部より20mmの位置)が方立側にくるように取付けてください。)

<使用工具>

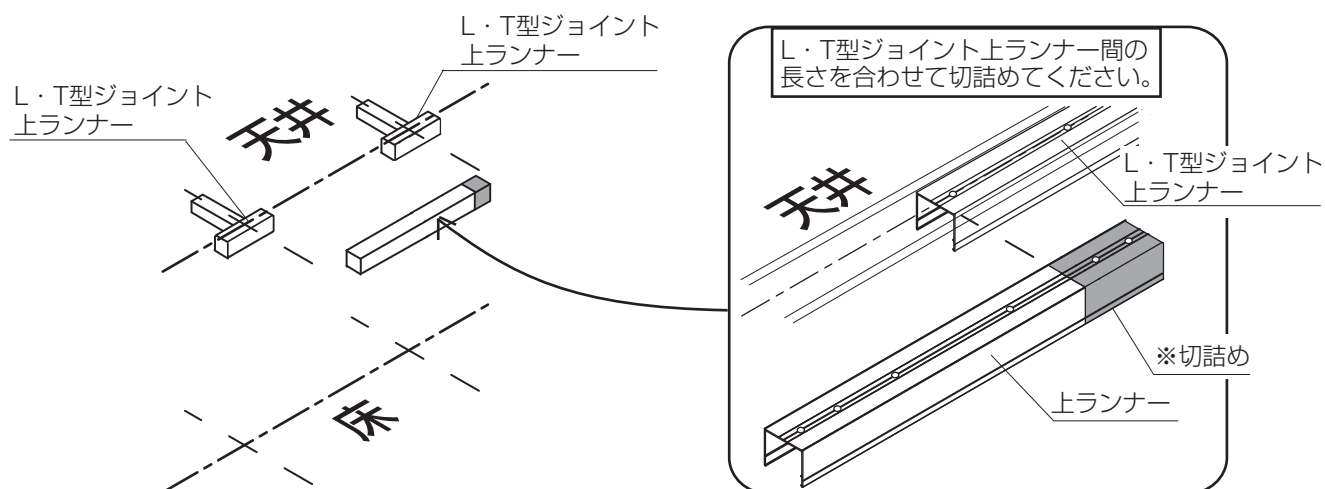
- ・電気ドリル
- ・ドリル刃 $\phi 5.0$
- ・プラスドライバー

※方立固定ブラケットの
向きに注意してください。



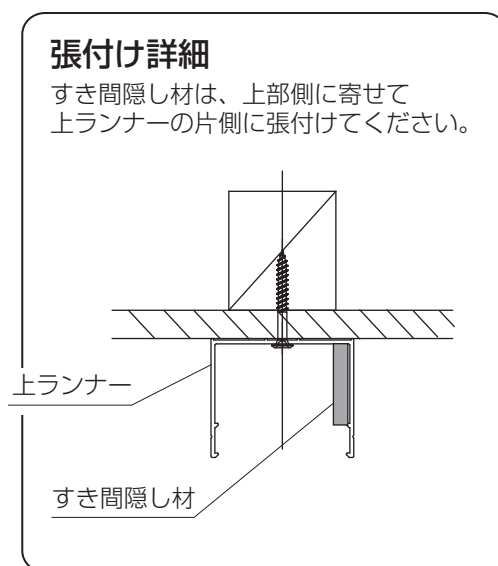
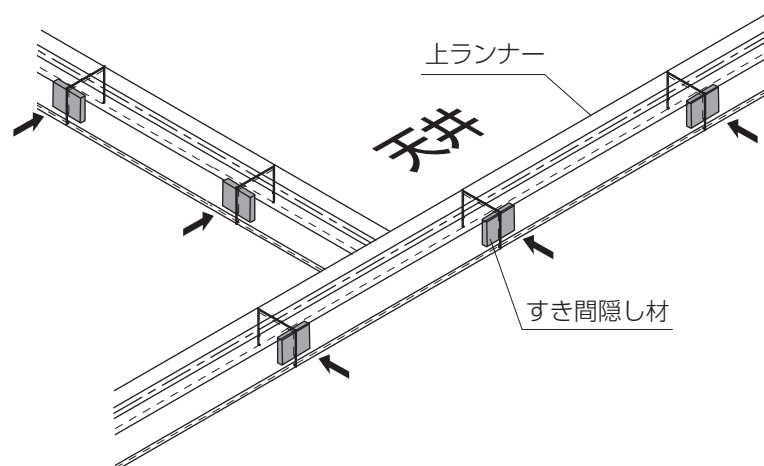
③ L・T型ジョイント-L・T型ジョイント

片側のL・T型ジョイント側の上ランナーを基準にして長さを合わせて切詰めてください。



② 上ランナーのつなぎ目の内側に、すき間隠し材を張付けてください。

※下図は、T型にて表示しています。



8 可変間仕切壁用 下ランナーの取付け

お願い

※設置前に床面の汚れなどをキレイに拭取ってください。床面に汚れなどがある場合、十分な接着ができなくなります。

1 メカニカルファスナー(フック)を2章で張付けた床面のマスキングテープのセンターになるように張付けてください。

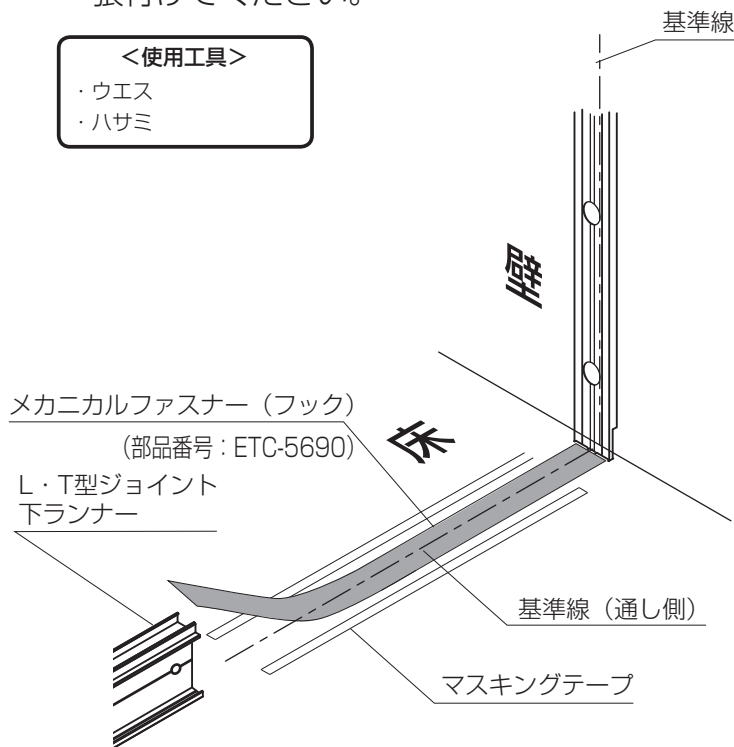
※.メカニカルファスナーの張付け面に空気が入らないようにしてください。

※.メカニカルファスナーにゴミなどが付着しないようにしてください。

※.メカニカルファスナーのつなぎ目は、メカニカルファスナー同士が重ならないように張付けてください。

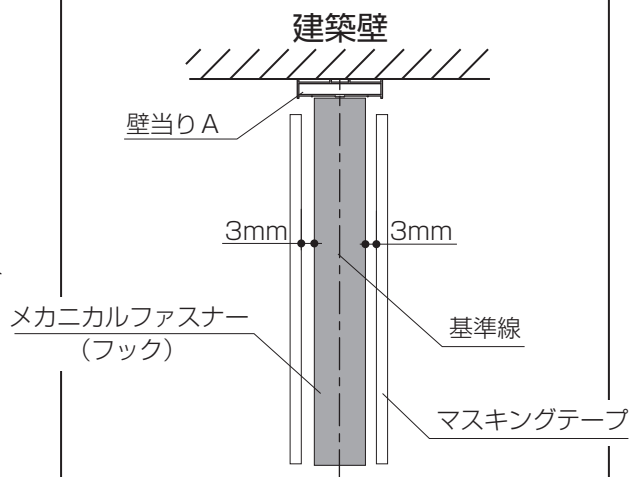
<使用工具>

- ・ウエス
- ・ハサミ



平面図

メカニカルファスナーはマスキングテープのセンターになるように張付けてください。

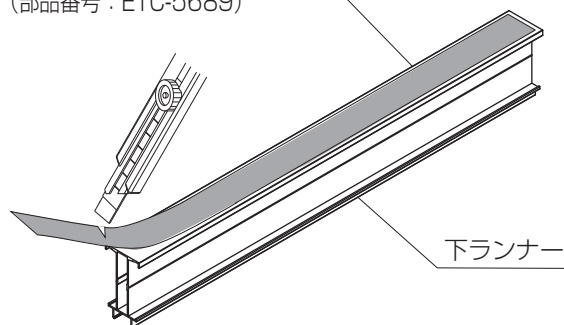


2 下ランナーの汚れなどを拭き取り、メカニカルファスナー(ループ)を張付けてください。

※.各納まりにおいて、下ランナーを切詰める場合があります。

切詰めを行ってから、メカニカルファスナーを張付けてください。

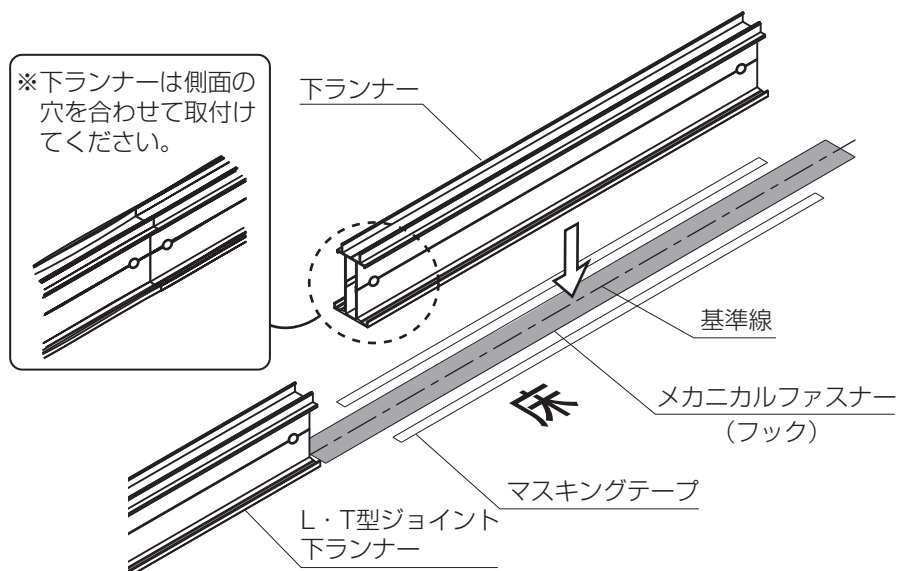
メカニカルファスナー (ループ)
(部品番号: ETC-5689)



<使用工具>

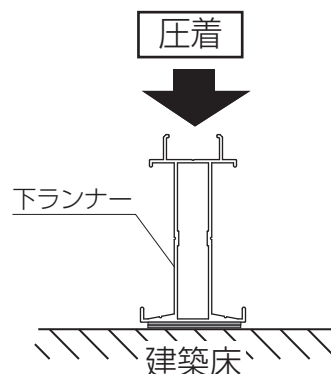
- ・ウエス
- ・カッター

- 3** 床面のマスキングテープに合わせて、下ランナーと床のメカニカルファスナーを張合せてください。
- 納まりにより取付ける下ランナーの順番が異なります。各①～③の納まり別の指示に従って取付けてください。



断面図

下ランナーを上から圧着してメカニカルファスナー同士をしっかりと張合せてください。

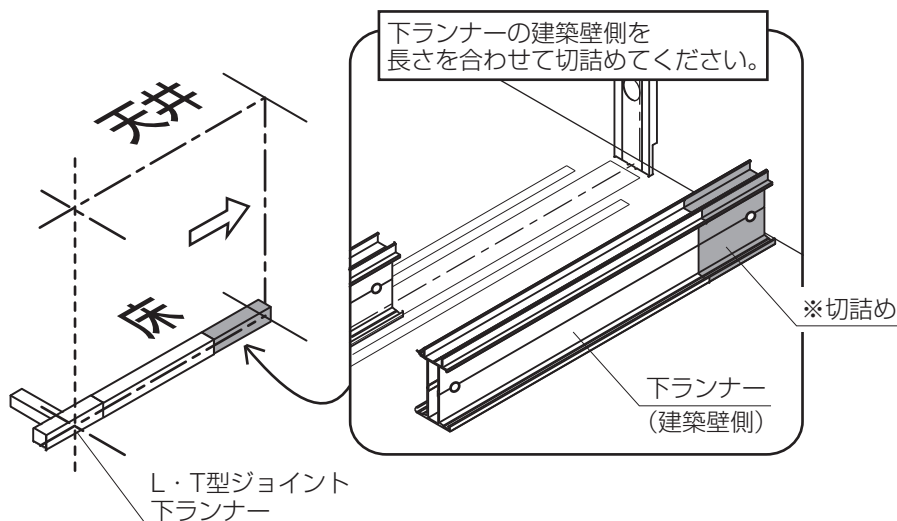


① 壁 - L・T 型ジョイント

L・Tジョイントの下ランナーから建築壁に向かって順番に取付け、建築壁側の下ランナーを切詰めてください。

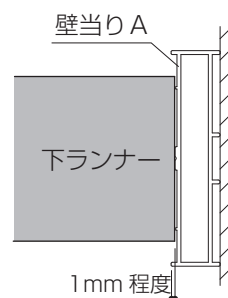
<使用工具>

- ・コンバックス
- ・電動丸ノコ



壁当りAとの取合い

壁当りAと下ランナーの取合いは下図のようになります。

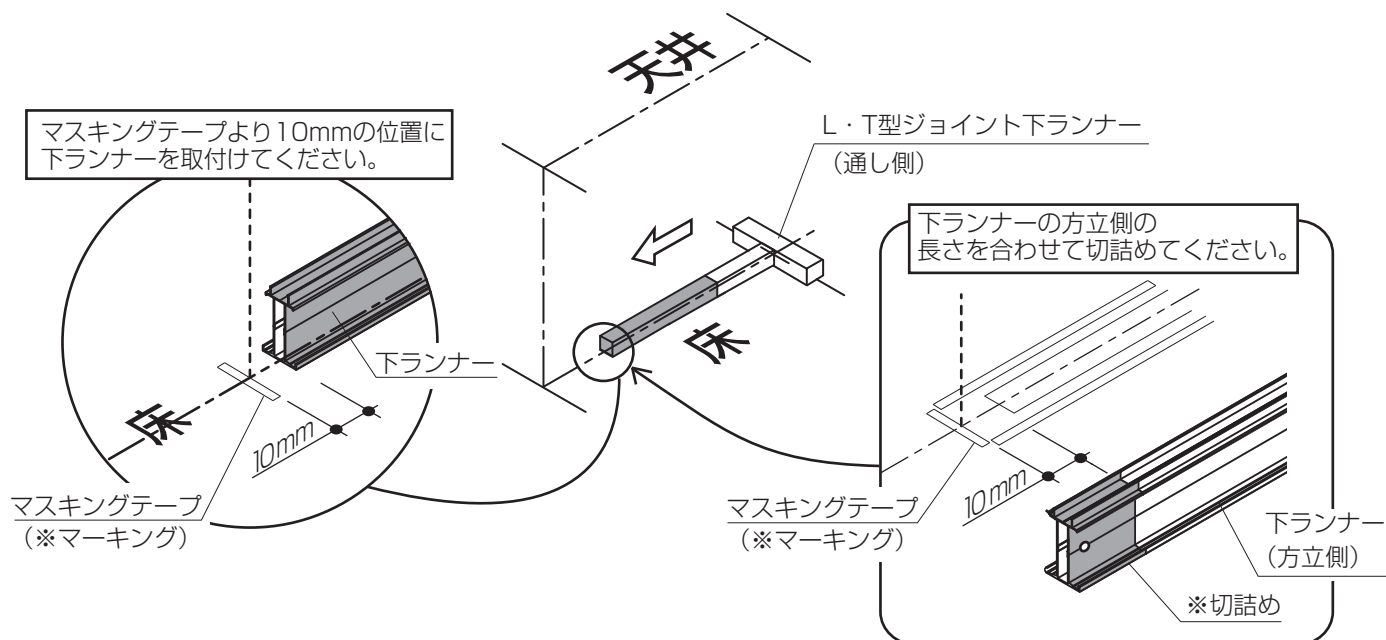


② L・T型ジョイント - 方立

マスキングテープ(方立位置)より ー10mm の位置に下ランナーがくるように
L・T型ジョイントより取付け、方立側の下ランナーを切詰めてください。

<使用工具>

- ・コンベックス
- ・電動丸ノコ

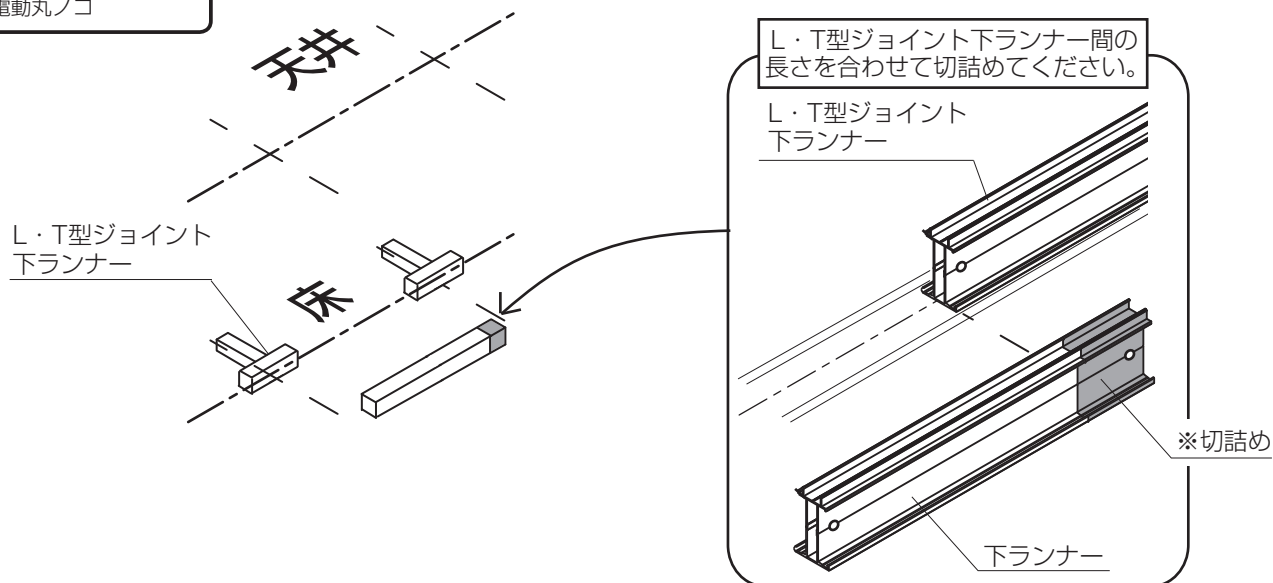


③ L・T型ジョイント - L・T型ジョイント

片側のL・T型ジョイント側の下ランナーを基準にして長さを合わせて切詰めてください。

<使用工具>

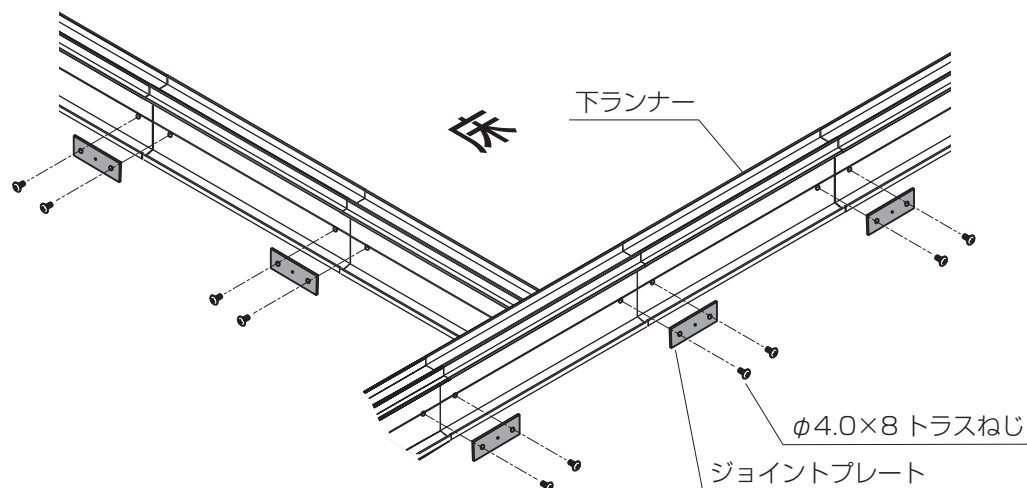
- ・コンベックス
- ・電動丸ノコ



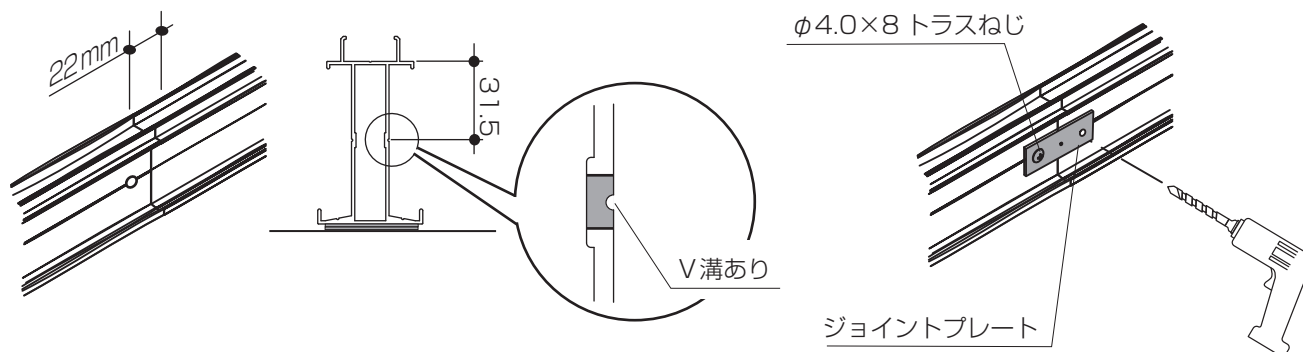
4 下ランナーのつなぎ目にジョイントプレートを取付けて連結してください。

<使用工具>

- ・電気ドリル
- ・ドリル刃 $\phi 3.5$
- ・プラスドライバー



下ランナーの側面にジョイントプレート取付け穴が無い場合は、
穴があいていない下ランナーに端部より22mmの位置に $\phi 3.5$ の下穴をあけるか、
ジョイントプレートを片側に取付け後、プレート穴からV溝を確認できる位置に合わせて $\phi 3.5$ の下穴をあけてください。



9 可変間仕切壁用 壁当りB・Cの取付け (壁-L・T型ジョイント納まりの場合)

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に
記載の P26、27 **5 壁当りB・Cの取付け** を参照し、作業を行ってください。

10 L・T型用 調整材(壁当りB・C)の取付け

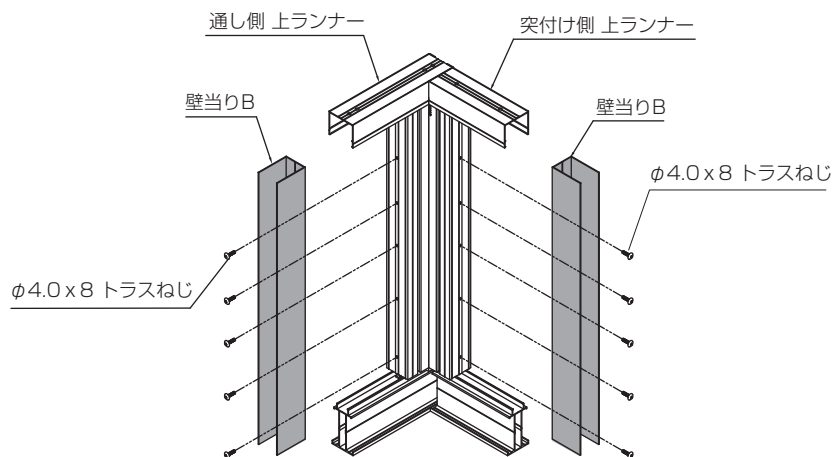
1 壁当りBの取付け

1-1 調整柱に壁当りBを下図のようにねじで取付けてください。

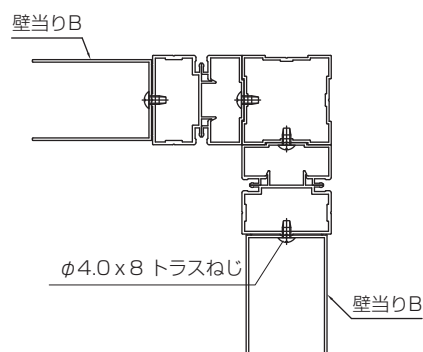
※取付けねじは、壁当りBの丸穴全てにねじ止めをしてください。

※下図は、L型にて表示しています。

L・T型 共通



壁当りBの取付け詳細図

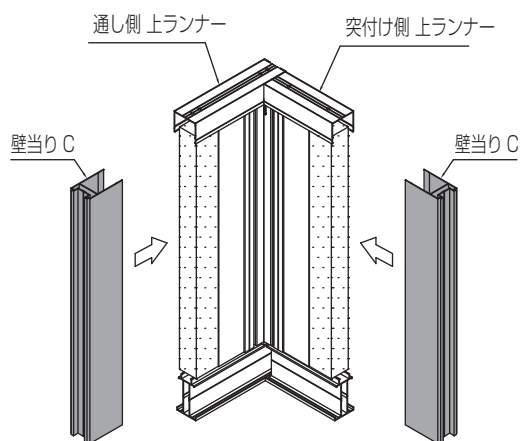
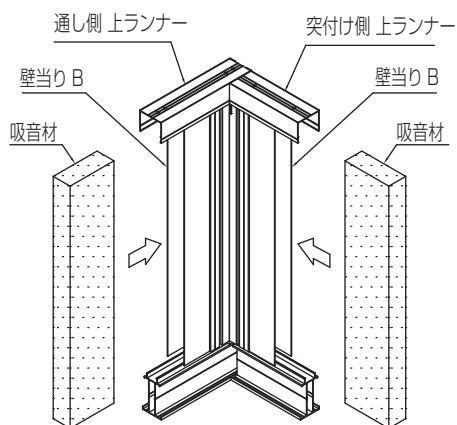


2 吸音材と壁当りCの取付け

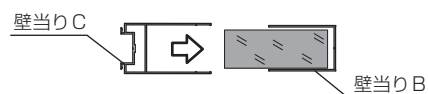
2-1 吸音材を壁当りBに入れ、壁当りCを壁当りBにはめ込んでください。

※下図は、L型にて表示しています。

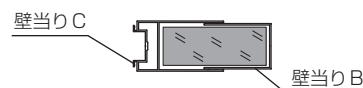
L・T型 共通



断面図



壁当りBをのみ込ませる形で壁当りCをはめ込んでください。



11 パネルの建込み

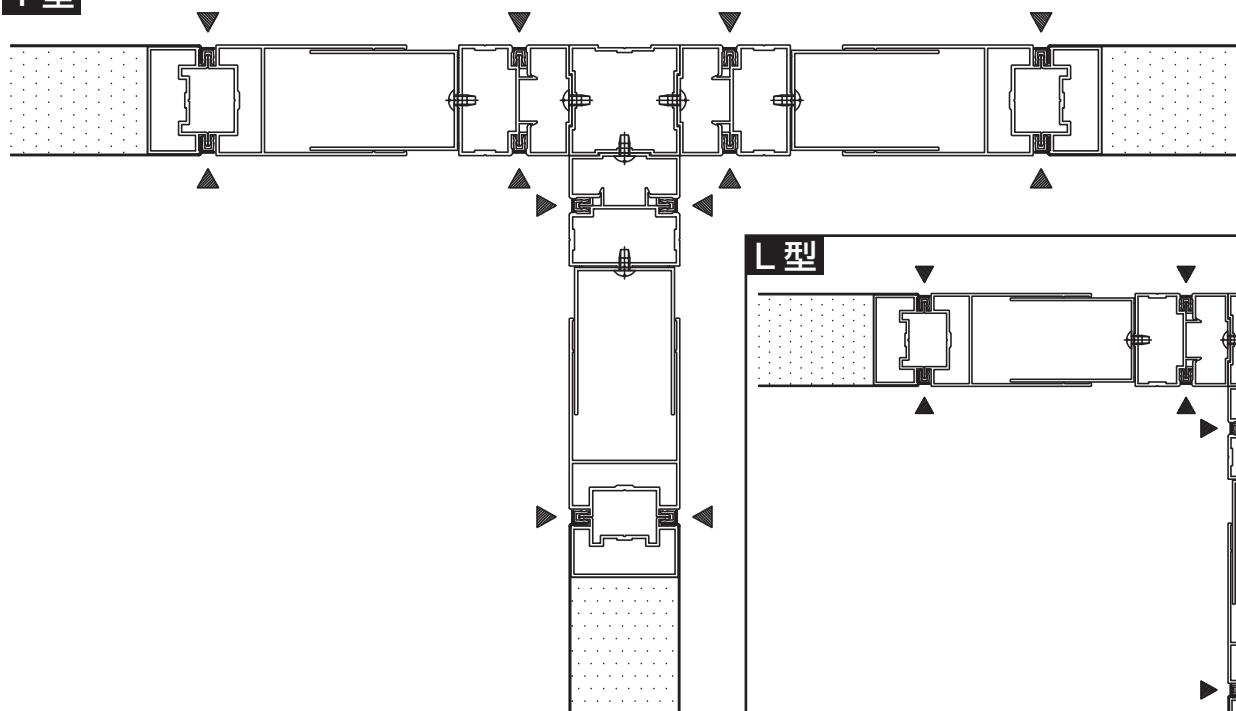
建込みの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に記載の P27、28 **6 パネルの建込み** を参照し、作業を行ってください。

12 L・T型用 目地カバーの取付け

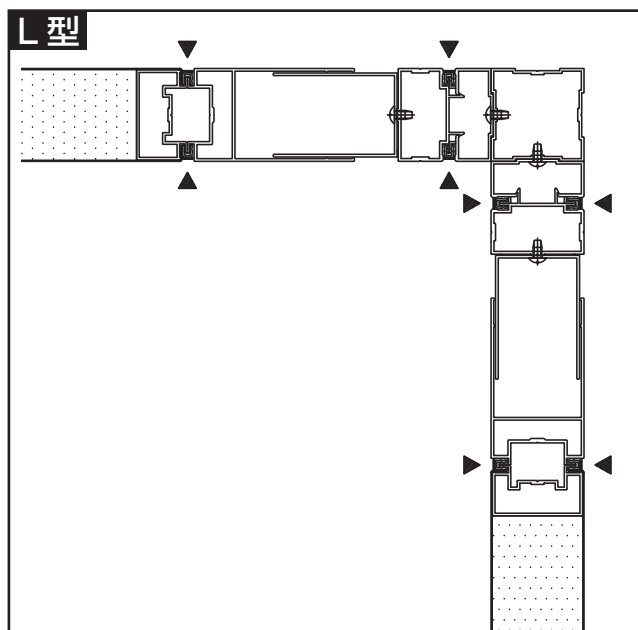
L・T型ジョイントの下図の位置に目地カバーを取付けてください。（下図の ▲ 部になります。）

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に記載の P29 **7 目地カバーの取付け** を参照し、作業を行ってください。

T 型



L 型



13 可変間仕切壁用 目地カバーの取付け

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に記載の P31 **8 目地カバーの取付け** を参照し、作業を行ってください。

14 方立の取付け

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に記載の P29、30 **7 方立の取付け** を参照し、作業を行ってください。

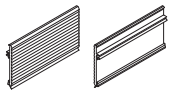
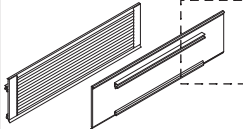
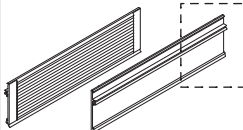
15 L・T型用幅木カバーの取付け

1 L・T型用幅木カバーの取付け

1-1 梱包内容の確認

長さ違いや加工など類似した幅木カバーが同梱されているため、再度梱包内容を確認の上、取付けを行ってください。

表 2

記号	名称 (使用箇所)	長さ	数量		姿図
			L 型	T 型	
A	幅木カバー (突付け側)	149	1	2	
B	幅木カバー (通し側)	154	1	2	
C	幅木カバー (通し側)	350	-	1	
D	コーナー用幅木カバー (突付け側)	300	1	-	
E	コーナー用幅木カバー (通し側)	300	1	-	

＜使用工具＞
・プラスチックハンマー

1-2 幅木カバーの取付け

下ランナーに幅木カバーを叩き込んで取付けてください。

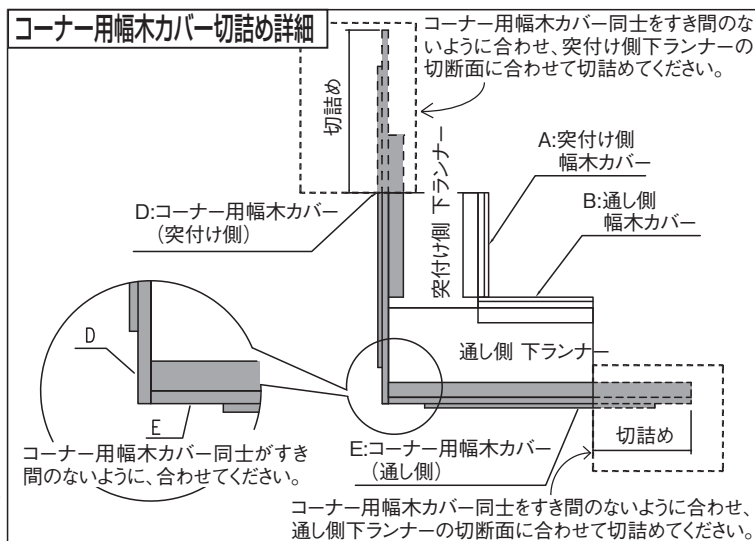
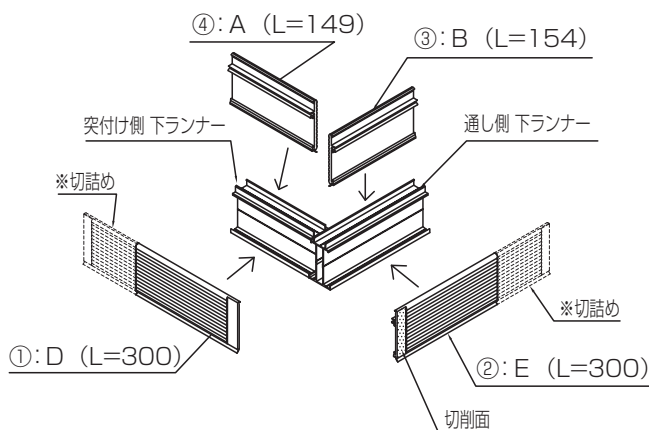
※はめ合いが硬い場合は、当て木をしてプラスチックハンマーで叩き込んで取付けてください。

※上の表2の記号は、下図の記号となっており、記号の前にある数値が取付けの順番を示しています。

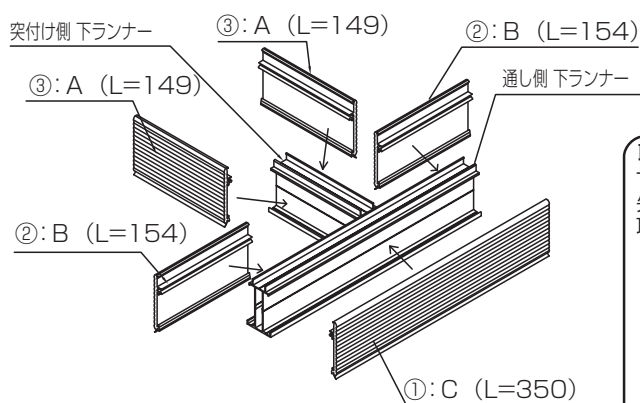
必ず「L・T型幅木カバー」より取付けを行ってください。

(可変間仕切壁との連結による部材長さの調整は、可変間仕切壁の本体側にて行います。)

L 型 ※コーナー用幅木カバーは必ず切詰めが必要です。
右図を参照に切詰めてください。

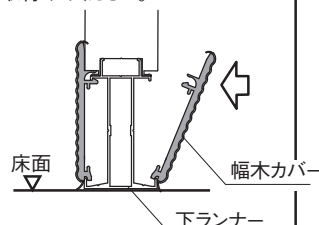


T 型



取付け詳細

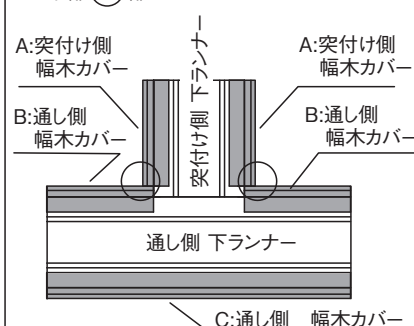
下ランナーに幅木カバーの下側を先にかけた後、上側を叩き込んで取付けてください。



取付け位置詳細図

通し側のB、Cを取付けた後、Aを取付ける際に、Bに押し付け、すき間のないようにしてください。

※下部○部

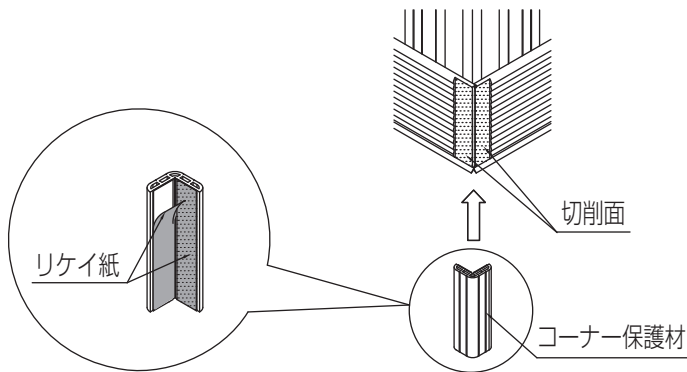


1-3 コーナー保護材の取付け (L型のみ)

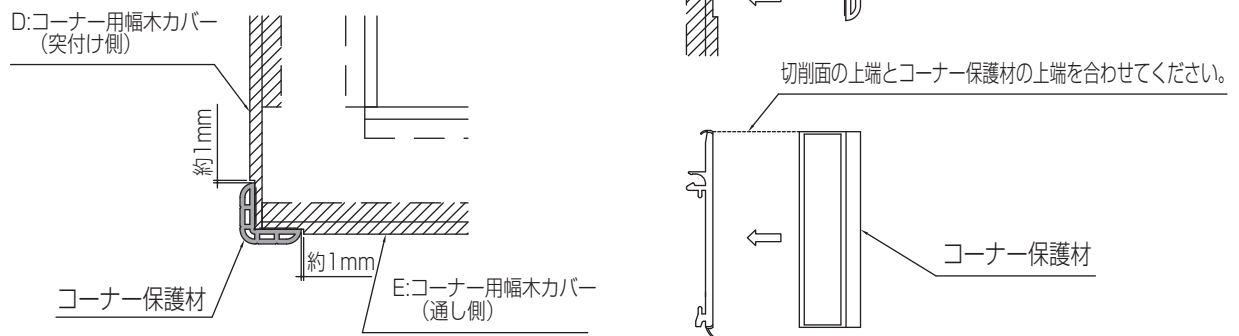
コーナー保護材にあるリケイ紙をはがし、コーナー用幅木カバーの切削面にコーナー保護材を下図のように取付けてください。

お願い

※設置前にコーナー用幅木カバーの切削面の汚れなどをキレイに拭き取ってください。
切断面に汚れなどがある場合、十分な接着ができなくなります。



取付け詳細図



16 可変間仕切壁用 幅木カバーの取付け

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に記載の P32 **9 幅木カバーの取付け** を参照し、作業を行ってください。

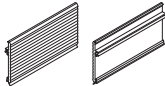
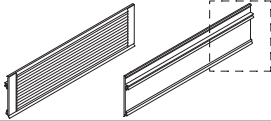
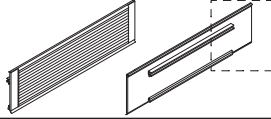
17 取付け後の製品確認と養生

▲ 注意

- 取付け完了後、ゆるみやガタツキ、及び使用上の不具合や危険な個所がないかを確認してください。
また、商品にキズや、ヘコミなどがないか確認してください。
- 取付け完了後に清掃を行い、引渡し前にキズがつくおそれがある場合はダンボールなどで養生をしてください。

18 移設時の部品について

1 移設をする際、下表の部品は消耗品となります。部品を手配して新品に交換してください。

名称	代表部品No.	姿図 又は セット内容
目地カバー	CY-2378	
幅木カバー	CY-2460	
コーナー用幅木カバー（通し側）	CY-3504	
コーナー用幅木カバー（突付け側）	CY-3503	
コーナー保護材	FO-1657	
ランナー部品セット	SE-1828	セット内容詳細については、 P.2（部材構成）参照
ジョイント縦部材取付けセット	SE-1994	セット内容詳細については、 P.3（部材構成）参照

19 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」という)が発生した場合には、お取り扱いの取付け業者、工務店、販売店または当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

取付け業者より商品の引渡し日(※1、※2)から起算して次の期間とします。

①商品の不具合については2年間。

※1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日を起算日とします(ただし、保証対象は改修部分のみ)。

※2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体貼付けラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、取付け上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩擦など。木製品の反り、曲がり、ねじれ、ささくれ、ひび割れ、色褪せ、変色など、樹脂部分の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガス、給湯機器などの燃焼ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦メンテナンス上の不備に起因する商品の不具合(例えば商品又は部品を長期間、清掃<水洗いなど>をしないことによっておきる腐食、シミ、汚れの発生など)
- ⑧天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨実用化されている技術では予測及び防止することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合
- ⑪植栽による不具合(例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など)
- ⑫引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理(お手入れ)を行わなかったことによる不具合
- ⑬お客様自身による組立て、取付け、修理、改造(必用部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑭本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

MEMO

商品に関するお問合せは、お客様相談センターまで

- ・ 商品のご購入・使い方などのご相談
- ・ 有償での修理と部品のご購入

 **0120-126-001** Fax 03-3638-8447

受付時間・・・月～金 9:00～18:00(祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く)

外壁材に関する商品相談は・・・旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル 0570-001-117

店舗関連商品に関する商品相談は・・・Tel 03-3638-8152 月～金 9:00～17:00(祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く)

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行う場合がありますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用いたします。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』をご覧ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

<http://www.lixil.co.jp/>

取説番号	MBA-151A	事業所コード	CPZ1	2011.7.1 発行
------	----------	--------	------	-------------

